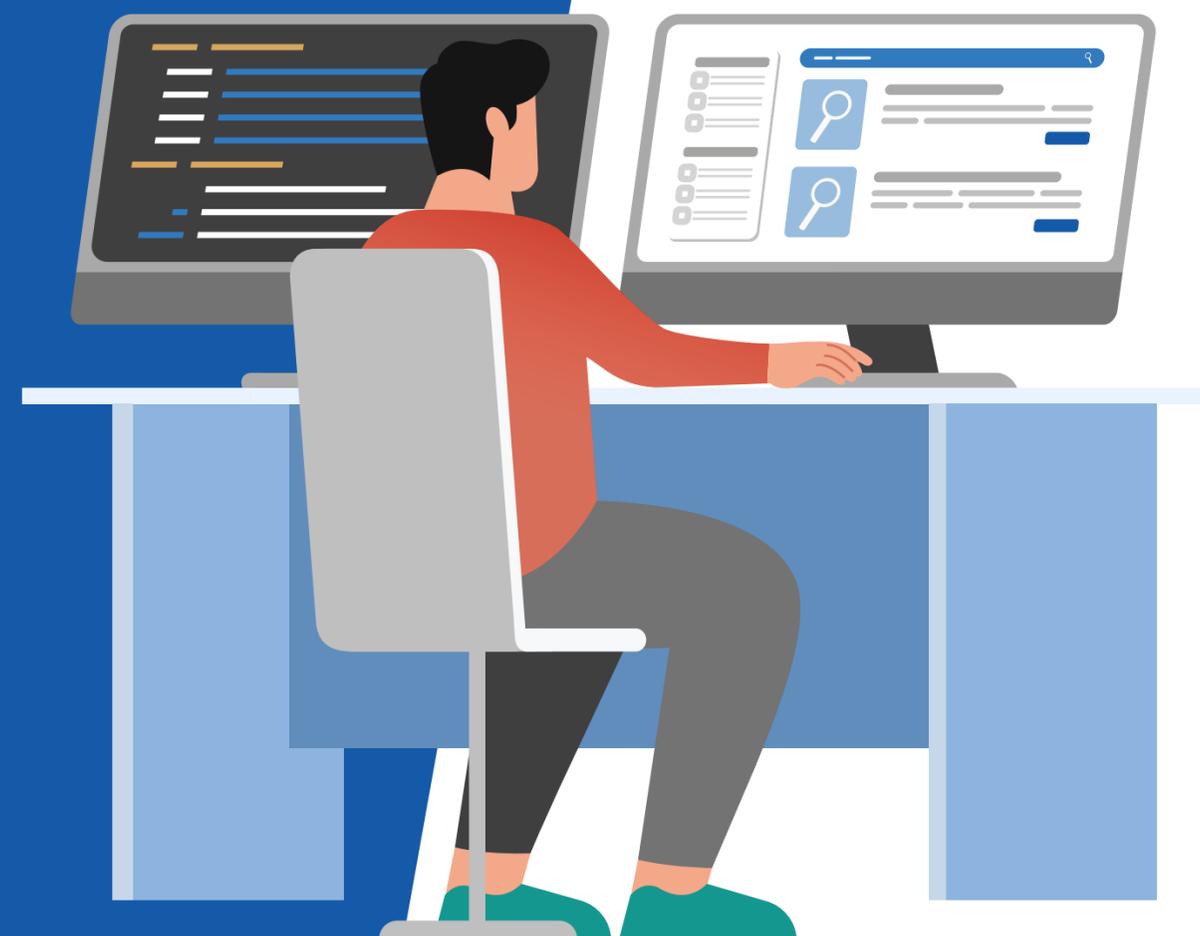


IT/Webエンジニア 転職動向調査

2024年度3月版

最新のエンジニア転職市場・
キャリア動向



本調査のサマリー

本レポートは、Findy会員ユーザーに対して下記概要のWebアンケートを実施し集計・分析したものになります。

※読みやすさの観点で、自由回答については元の意味を変えない程度に表現を変更しています。

※小数点第2位を四捨五入した結果を表示しています。

※平均年収・副業収入は各選択肢別に想定年収を設定(例:300～350万円⇒325万円)して加重平均にて算出しています。

※回答者が所属する企業タイプはWeb系企業・受託企業など複数あり、回答結果に大きな傾向がある場合を除いて、全て含めた結果を表示しています。

調査目的：エンジニアの転職・キャリアに関する調査

調査期間：2024年1月25日～1月31日

分析対象回答数：771

調査主体：ファインディ株式会社

調査結果サマリ（※前回調査は2023年9月に実施）

- エンジニアの平均年収は676.4万円で、前回調査の682.8万円とほぼ同水準
- 転職経験なしを除くと、直近の転職で年収アップした方は61.1%と半数以上、一方で年収が下がった方は16.7%存在
- 転職先として「上場ベンチャー・大企業」の注目度がアップ
- 「フルリモート」の割合は52.4%で前回調査と比較して4.6%減少し、「週3～4日出社」の割合が6.2%増加
- 注目している技術や業界では、生成AI技術・ブロックチェーン技術に関する回答が多数

01. 基本情報

- 年齢分布
- 雇用形態・属性
- 職種分布
- 役職者比率

02. 年収

- 平均年収
- 年収分布
- 年収分布（年代・役職・職種別）

03. 転職動向

- 転職回数
- 転職後の年収
- 転職の条件

04. 注目企業・キャリア

- 興味のある企業タイプ
- 興味のあるキャリアパス
- 興味のあるキャリアパスの理由
- 働いてみたい企業

05. リモートワーク

- リモートワークの現況
- リモートワーク頻度の希望
- リモートワーク頻度の希望理由
- リモートワーク頻度の満足度

06. 技術

- 使用言語・技術
- 今後習得・強化したい言語
- 言語別の平均年収
- JavaScript、TypeScript利用者の使用技術と習得・強化したい技術
- フレームワーク・ライブラリ別の平均年収
- 注目している技術や業界

07. 副業

- 副業経験
- 副業収入
- 副業稼働時間
- 副業収入×年収別
- 副業稼働時間×年収別

08. 自己研鑽

- 自己研鑽にかける時間
- 自己研鑽の内容
- イベントへの参加
- 職務経歴書のアップデート

おわりに

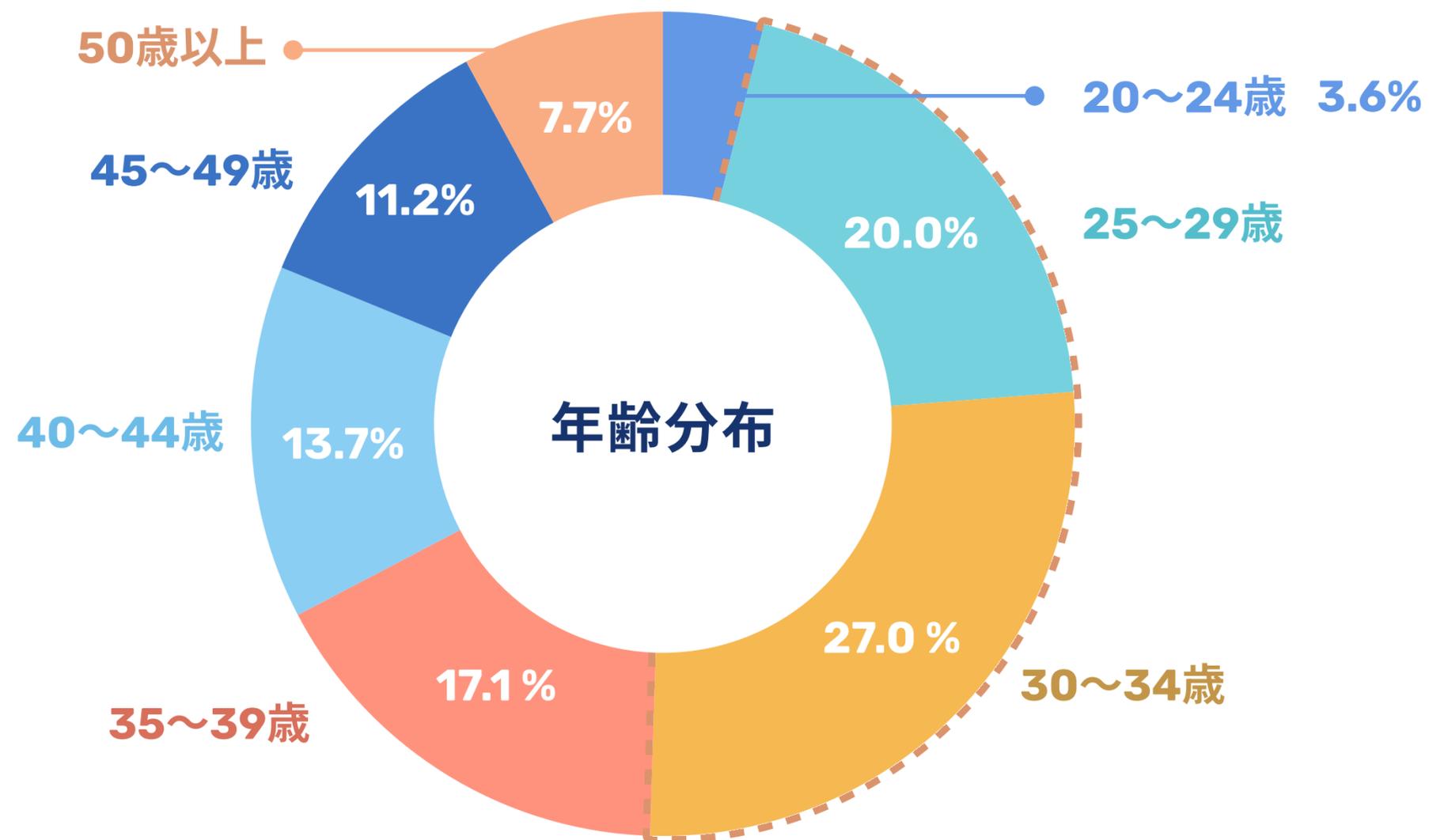
ユーザーサクセス面談のご案内

01 基本情報

年齢のボリュームゾーンは25～34歳で47.0%

設問

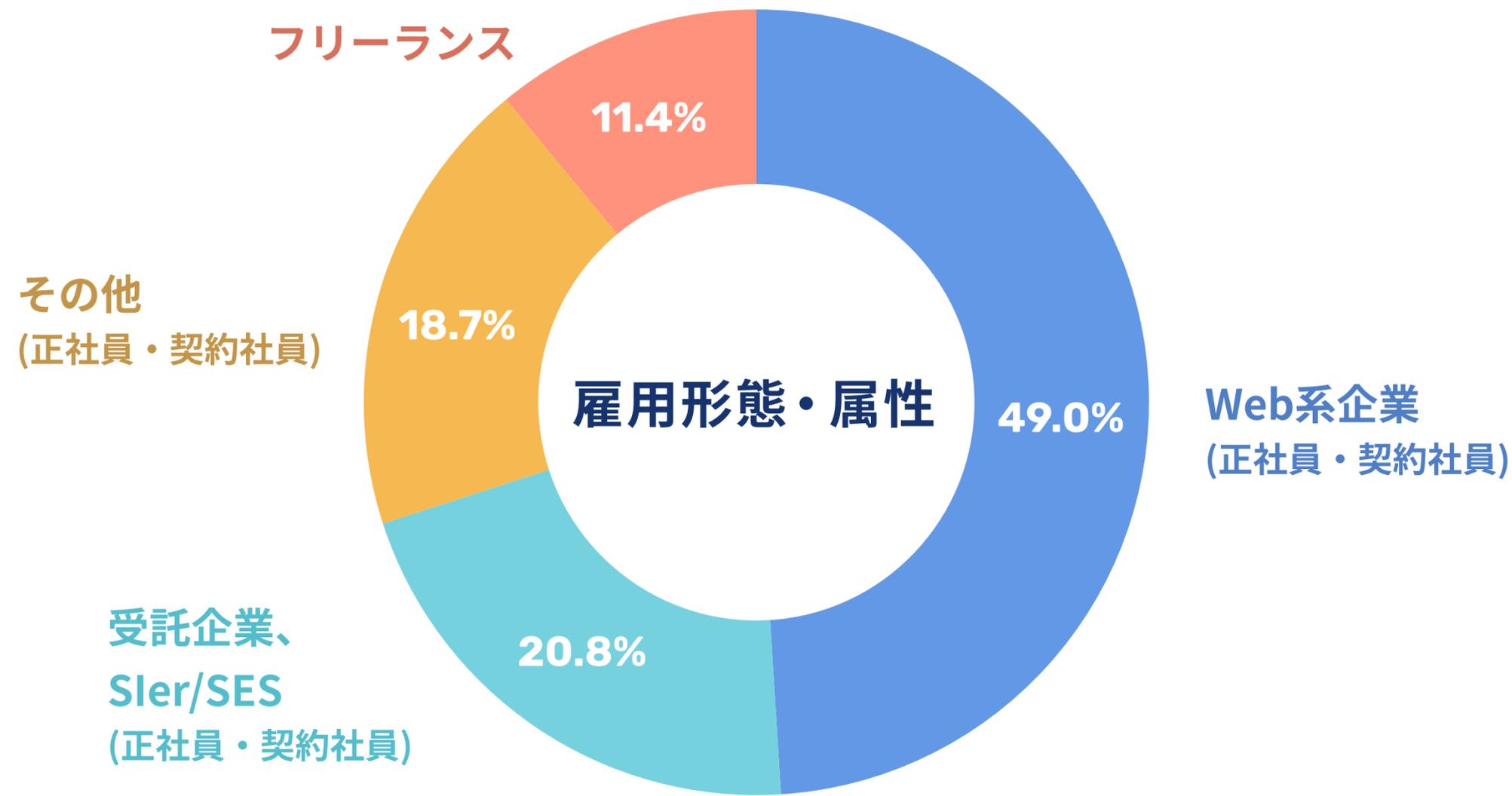
あなたの年齢を教えてください



正社員・契約社員が88.5%、Web系企業のエンジニアの割合は49.0%

設問

現在の所属として最も近いものを選んでください



職種分布はバックエンド・フルスタック・フロントエンドの順に多い

設問

あなたの現在の職種として、最も当てはまるものをお答えください

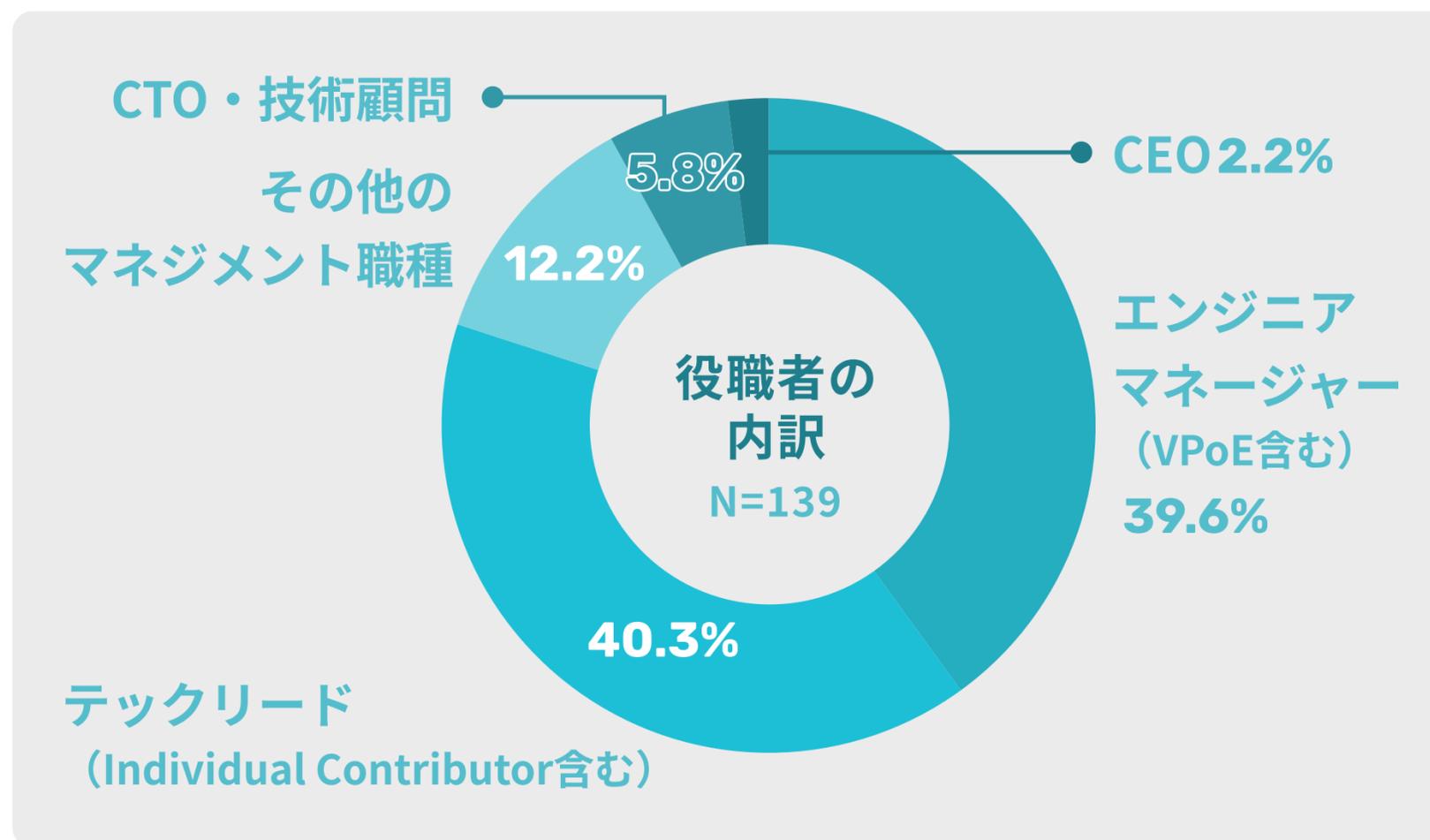
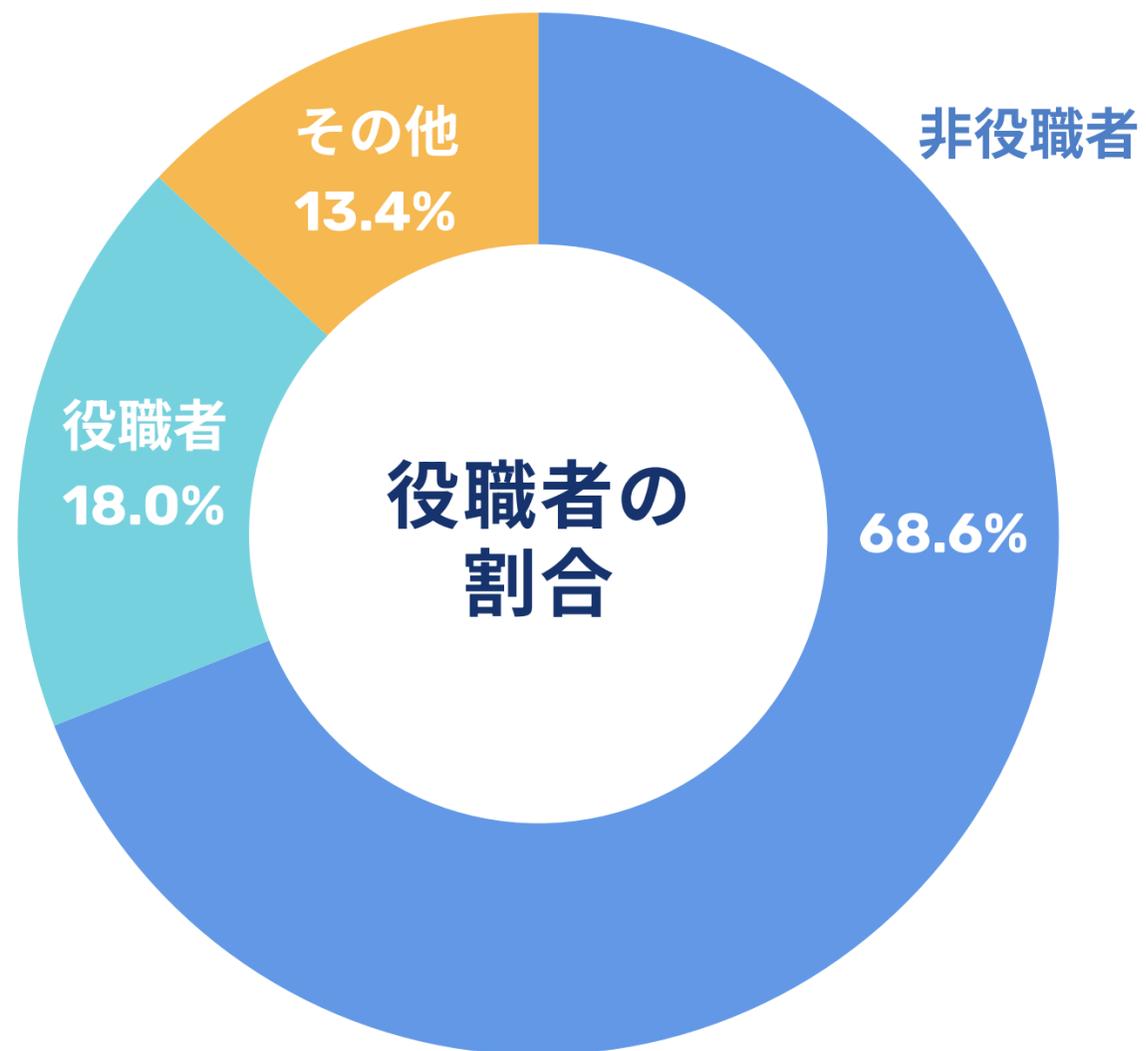
1	バックエンドエンジニア	29.1%
2	フルスタックエンジニア	21.4%
3	フロントエンドエンジニア	12.3%
4	インフラエンジニア	4.3%
5	SRE	4.0%
6	iOSエンジニア	3.1%
7	QAエンジニア	3.0%
8	SIエンジニア	2.3%
9	Androidエンジニア	2.2%
10	情報システム	2.0%

11	DevOpsエンジニア	1.4%
12	組み込みエンジニア	1.3%
12	テクニカルサポートエンジニア	1.3%
12	機械学習エンジニア	1.2%
15	データエンジニア	1.0%
16	ゲーム開発エンジニア	0.9%
17	セキュリティエンジニア	0.8%
17	ネットワークエンジニア	0.8%
17	データサイエンティスト	0.8%
20	データベースエンジニア	0.7%
21	データアナリスト	0.4%
21	プリセールス	0.4%
23	UXエンジニア	0.3%
-	その他	5.2%

68.6%が非役職者。役職者の内訳はEMテックリードがほぼ同数

設問

マネジメント職に該当する方は当てはまるものをお答えください



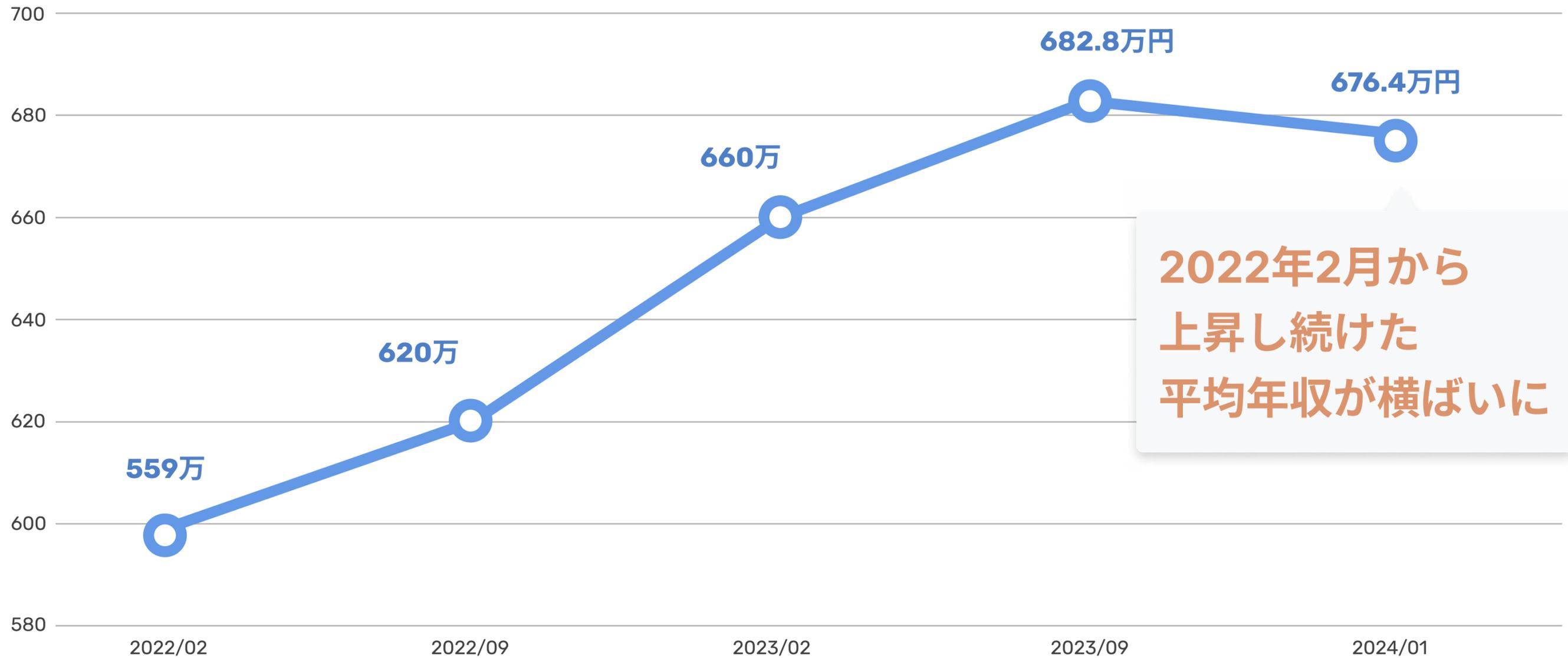
※役職者：テックリード、エンジニアマネージャー、CTO・技術顧問、CEO、その他のマネジメント職種
※その他：フリーランス・プロダクトマネージャー・スクラムマスター・採用PM、プロジェクトマネージャー
※過去実施調査ではマネジメント職種に関する設問は複数回答可能で実施、今回調査では単一回答となっている

02 年収

エンジニアの平均年収は676.4万円で前回調査時（2023年9月）の682.8万円とほぼ同水準

設問

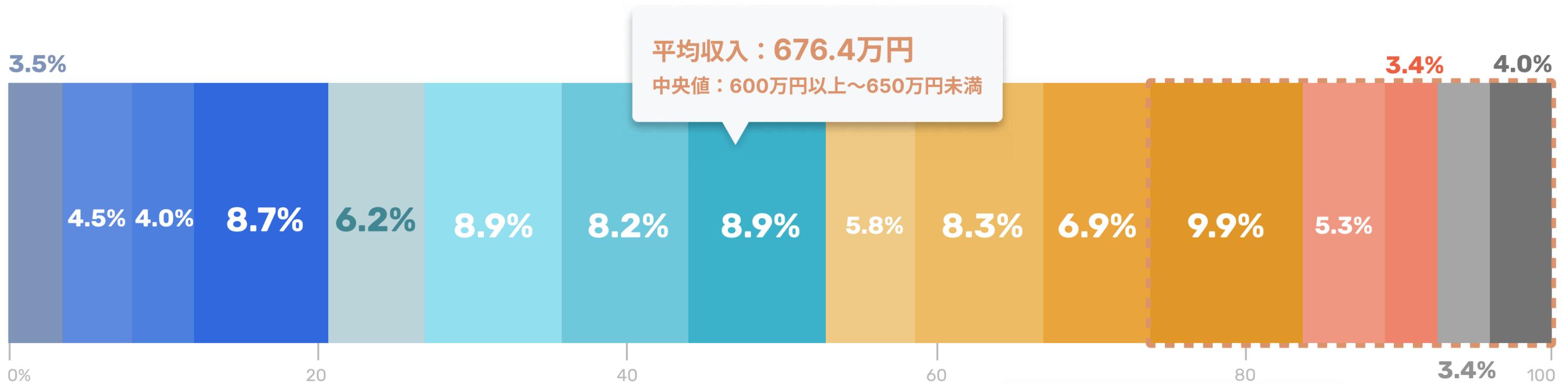
現在の年収（本業のみの収入）について当てはまるものをお答えください
※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください



年収の中央値は600万～650万円、800万円以上の割合が25.9%

設問

現在の年収（本業のみの収入）について当てはまるものをお答えください
※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください



【凡例】

- ～300万円未満
- 300万円以上～350万円未満
- 350万円以上～400万円未満
- 400万円以上～450万円未満
- 450万円以上～500万円未満
- 500万円以上～550万円未満
- 550万円以上～600万円未満
- 600万円以上～650万円未満
- 650万円以上～700万円未満
- 700万円以上～750万円未満
- 750万円以上～800万円未満
- 800万円以上～900万円未満
- 900万円以上～1,000万円未満
- 1,000万円以上～1,100万円未満
- 1,100万円以上～1,200万円未満
- 1,200万円以上

年収800万円超：25.9%
年収800万円未満：74.1%

職種別ではSREの平均年収が787.9万円でトップ

設問

現在の年収（本業のみの収入）について当てはまるものをお答えください
※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください

年代別

- 20代：504.8万（N=182） | 前回512.9万
- 30代：682.4万（N=340） | 前回694.3万
- 40代以上：793.6万（N=249） | 前回796.1万

役職・役割別

- エンジニアマネージャー：917万（N=55）
- テックリード：817.4万（N=56）
- 非マネジメント：625.5万（N=529）
- プロダクトマネージャー：646.4万円（N=21）
- プロジェクトマネージャー：769.6万円（N=37）

職種別

- フロントエンド：573.7万円（N=95） | 前回561.5万
- バックエンド：628.6万円（N=224） | 前回665.5万円
- フルスタック：711.8万円（N=165） | 前回754.9万円
- インフラ：716.7万円（N=33） | 前回データなし
- SRE：787.9万円**（N=31） | 前回データなし
- iOS：710.4万円（N=24） | 前回データなし
- QA：662万円（N=23） | 前回データなし

※N=20以上の項目に絞って表示

※前回（2023年9月）N数が20に満たない場合は「前回データなし」と記載

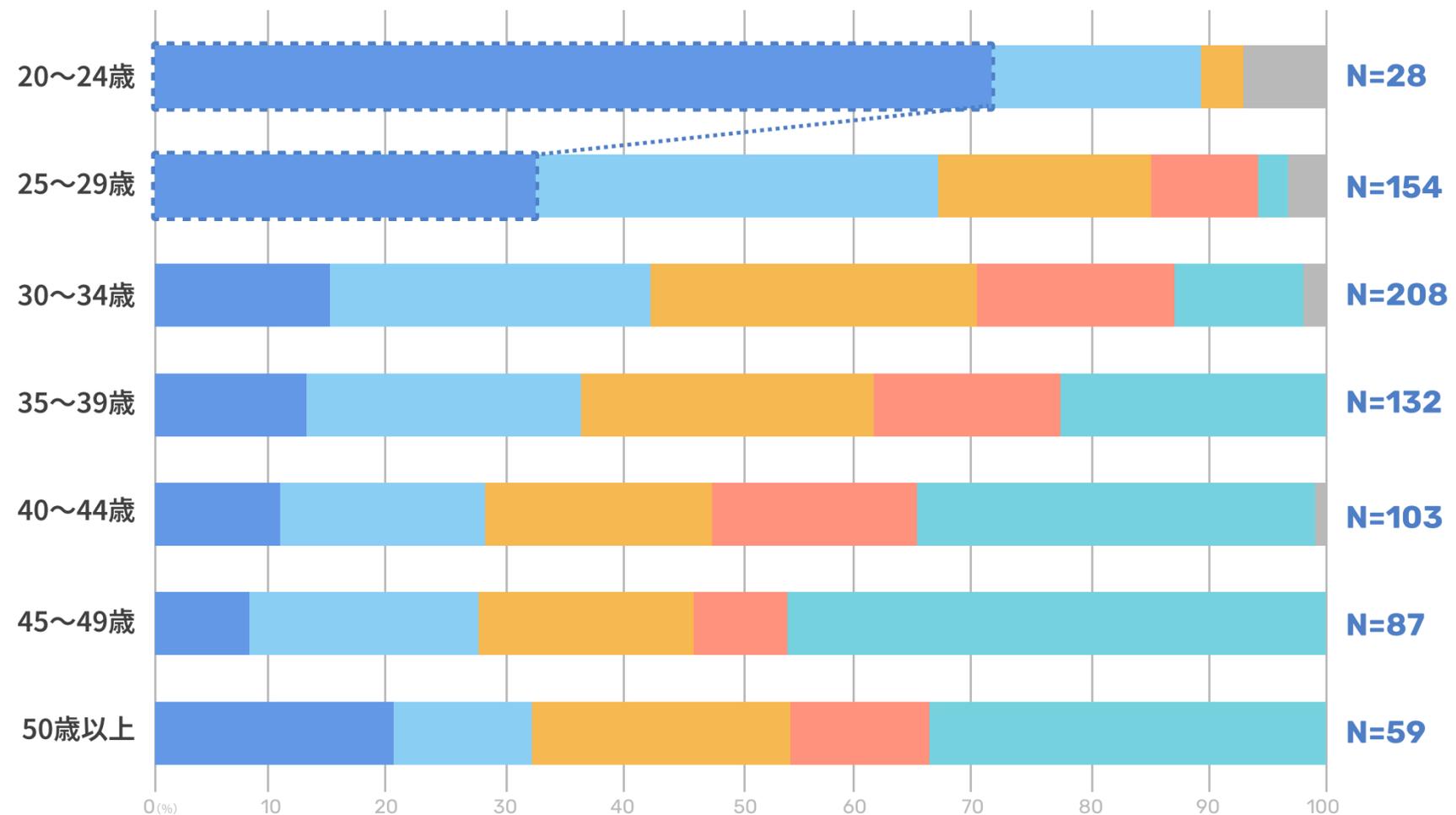
※役職・役割は今回は単一回答だが、前回調査時は複数選択可としていたため、前回比較はなし

03 転職動向

25～29歳で最初の転職をするケースが多い

設問 これまで正社員・契約社員で就業した会社の社数をお答えください

年代別の回答



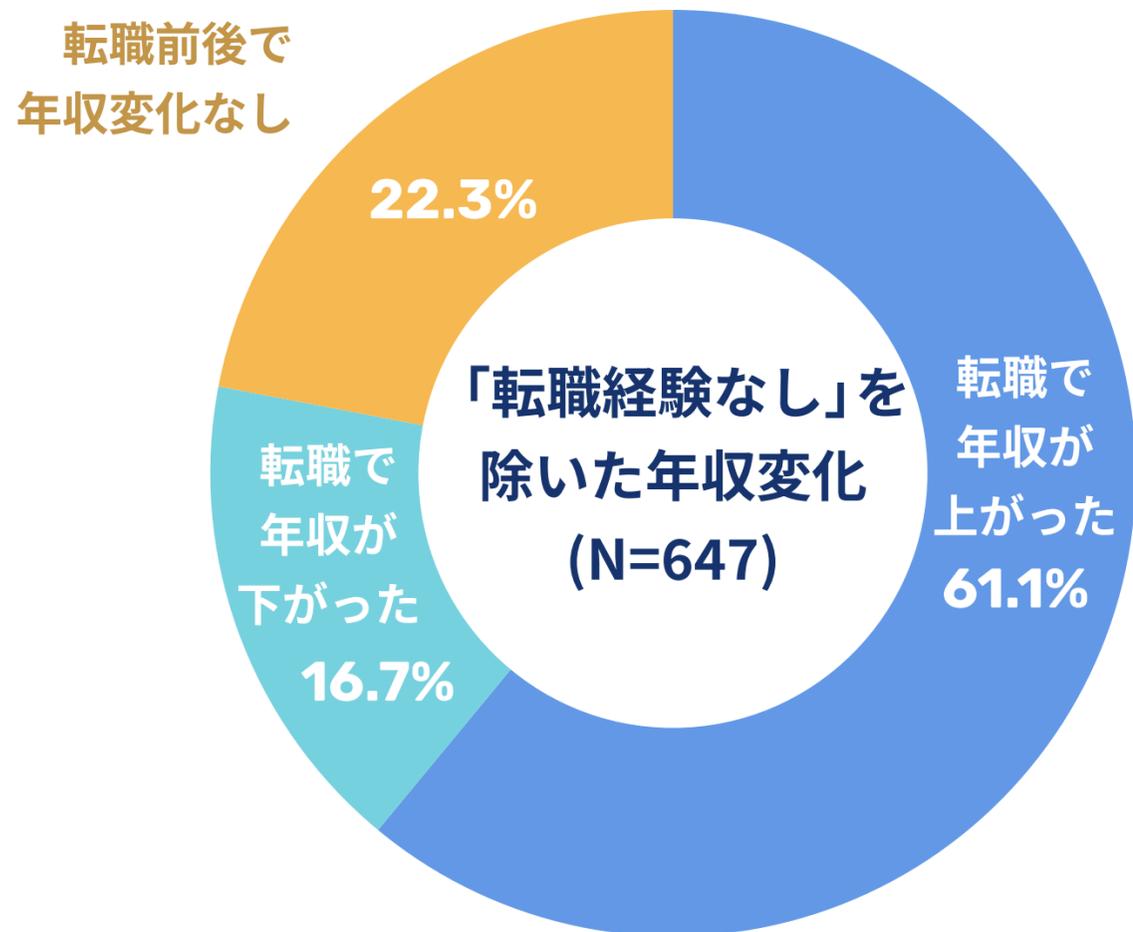
25～29歳で最初の転職をするケースが多い

【凡例】

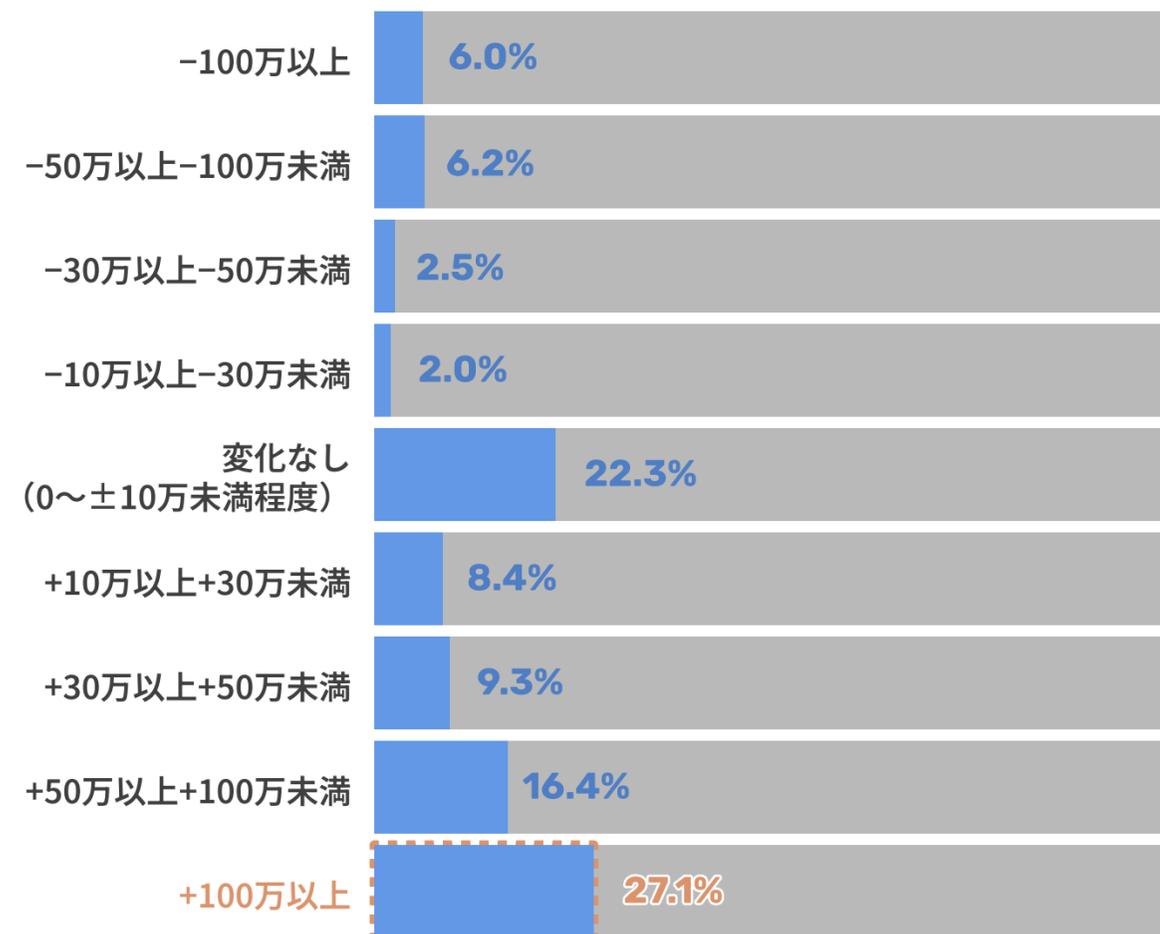
- 1社
- 2社
- 3社
- 4社
- 5社以上
- 0社
(正社員・契約社員の就業経験なし)

転職経験なしを除くと、直近の転職で年収アップした方は61.1%と半数以上 一方で年収が下がった方は16.7%存在

設問 直近の転職の前後で年収の変化はありましたか？



年収変化の額 (N=647)



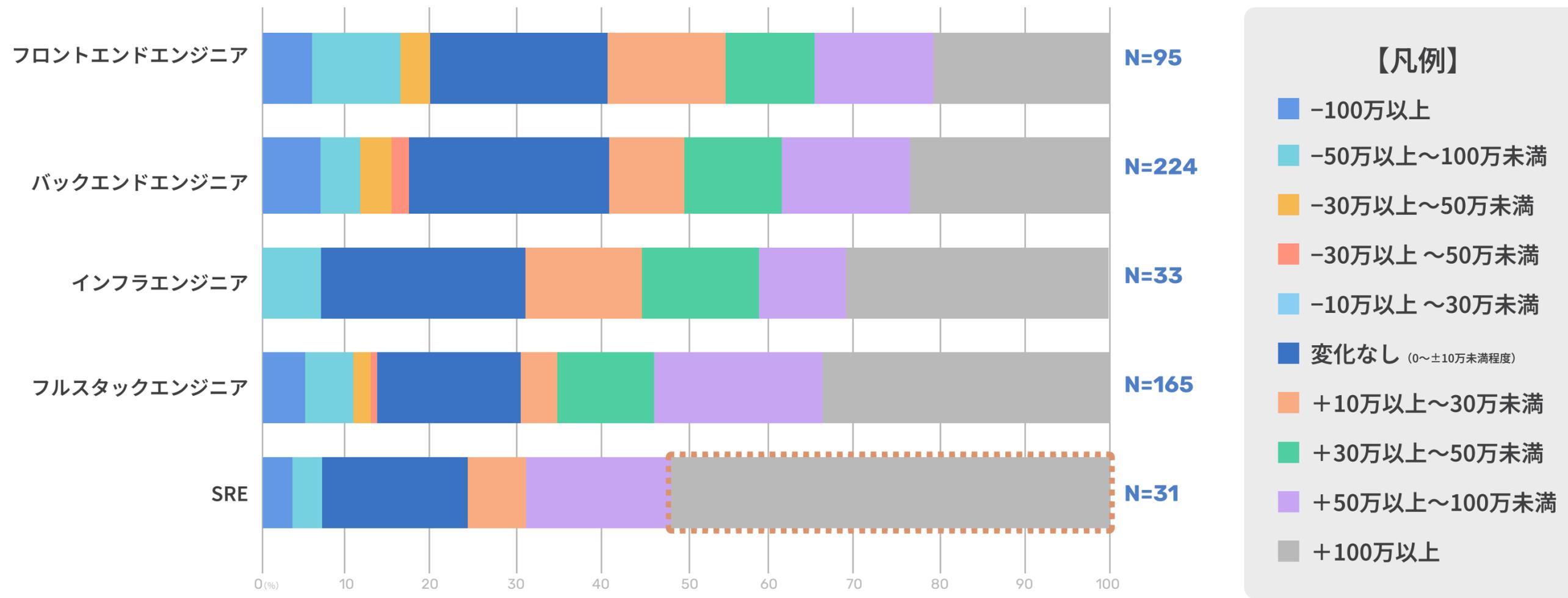
転職した約4人に1人が
年収100万円以上
アップに
つながっている

職種別で見ると年収アップした割合はSREエンジニアが多い

設問

直近の転職の前後で年収の変化はありましたか？

職種別の回答

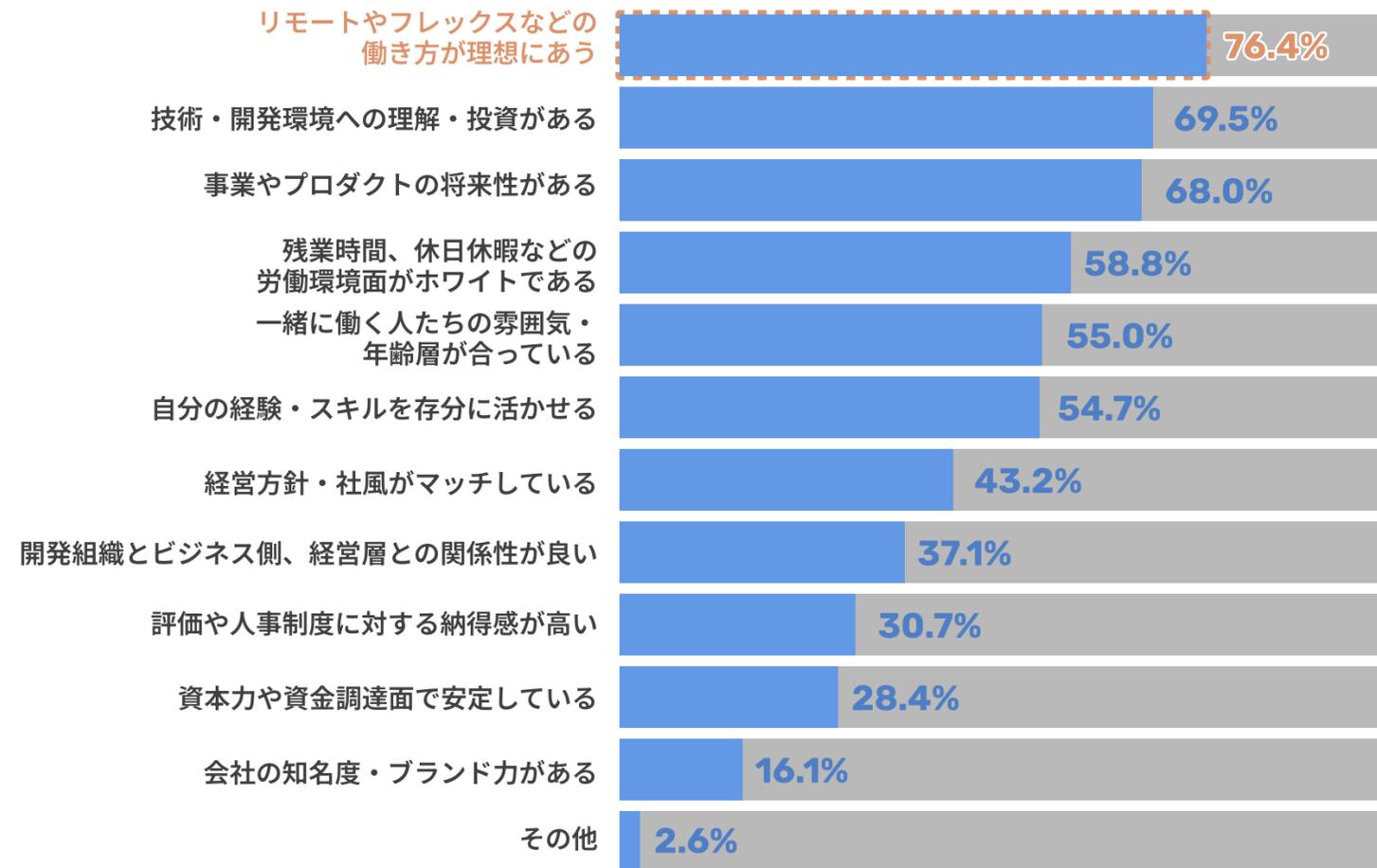


オファー年収が同額の場合、転職の決め手となる要素は「リモートやフレックスなどの働き方が理想にあう」が76.4%と最も注目を集めた

設問

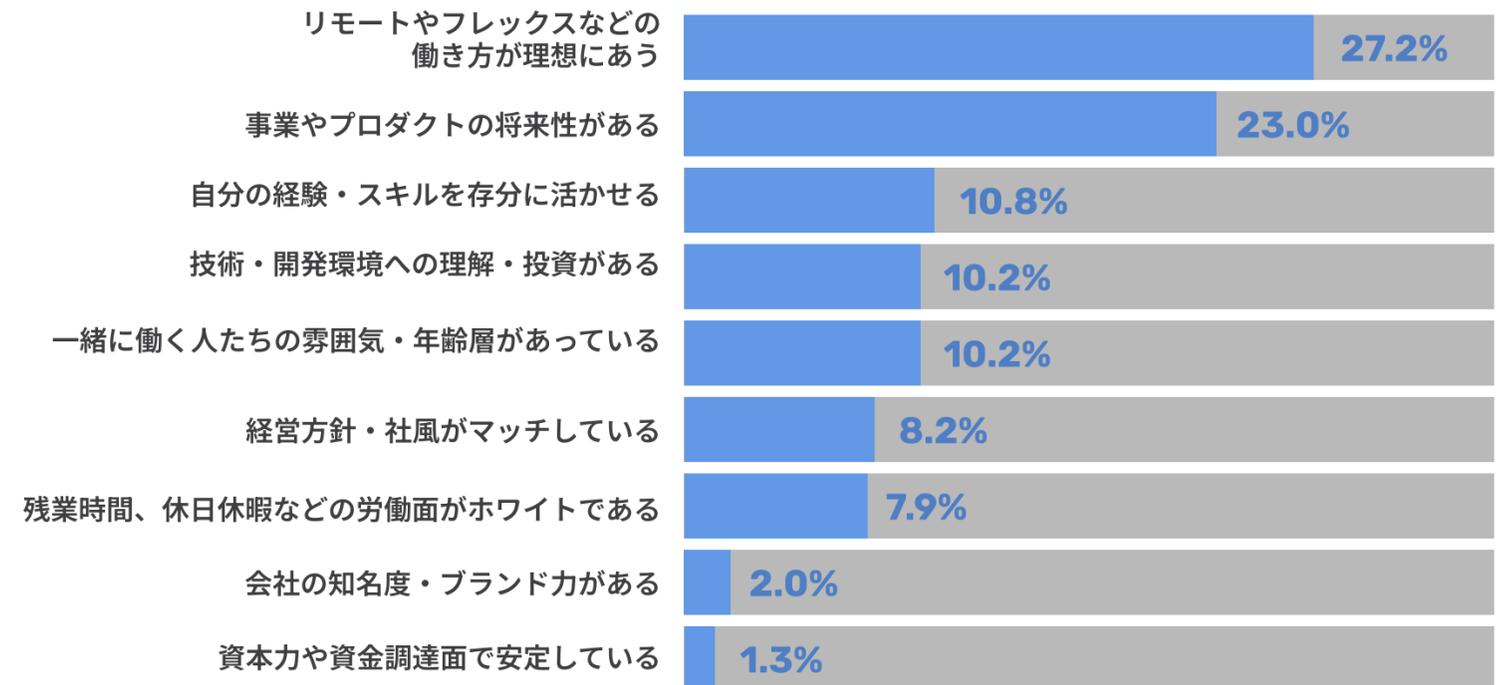
複数企業から同額のオファー年収で内定が出ている場合、転職の決め手となる要素として重要視するものをすべて教えてください

2024年3月



参考) 2023年9月調査時の結果

※前回は「最も重要視するものを1つ選んでください」という質問

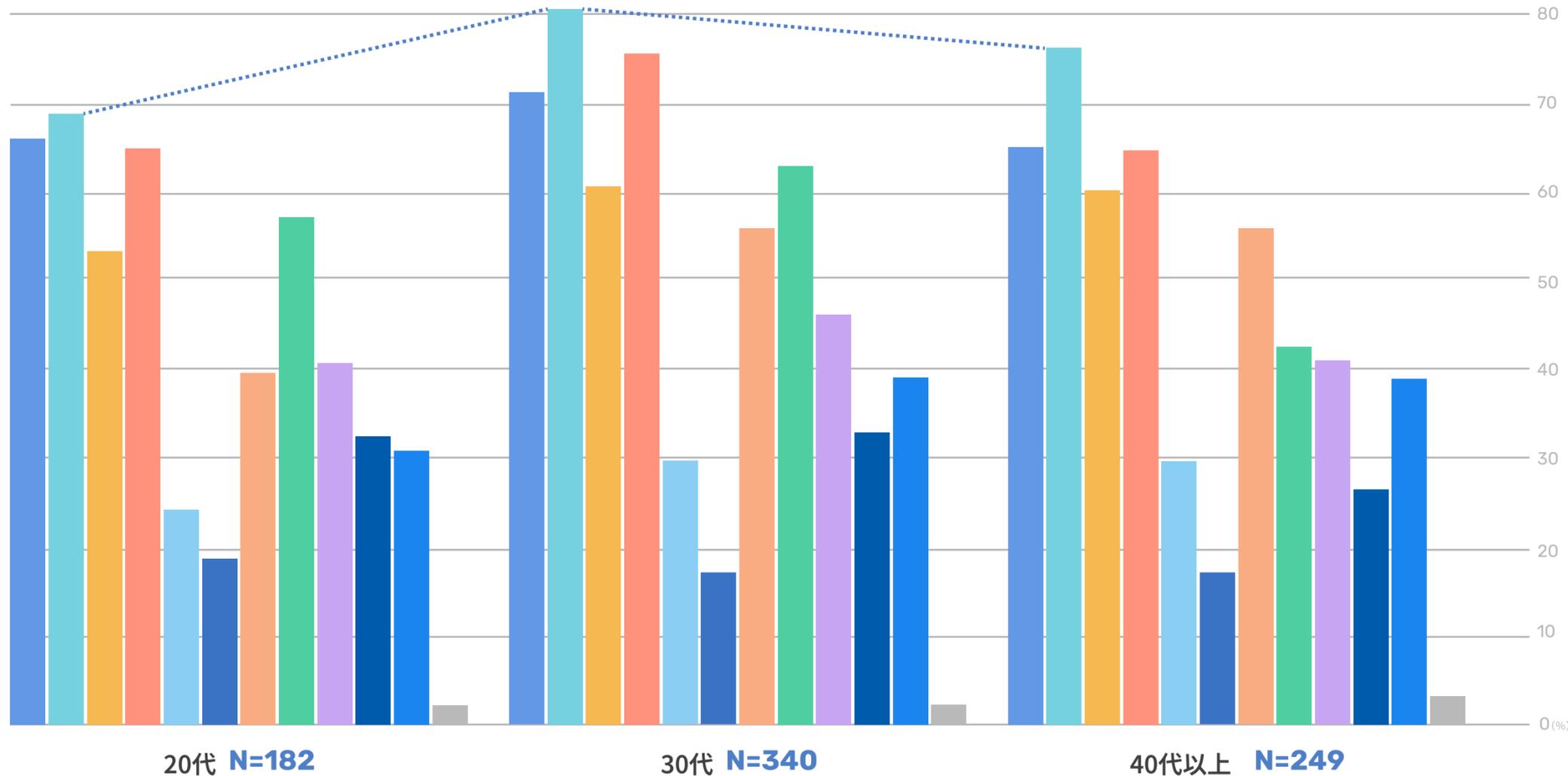


「リモートワークやフレックスなどの働き方」を特に重要視するのは30代で80.6%

設問

複数企業から同額のオファー年収で内定が出ている場合、転職の決め手となる要素として重要視するものをすべて教えてください

年代別の回答



【凡例】

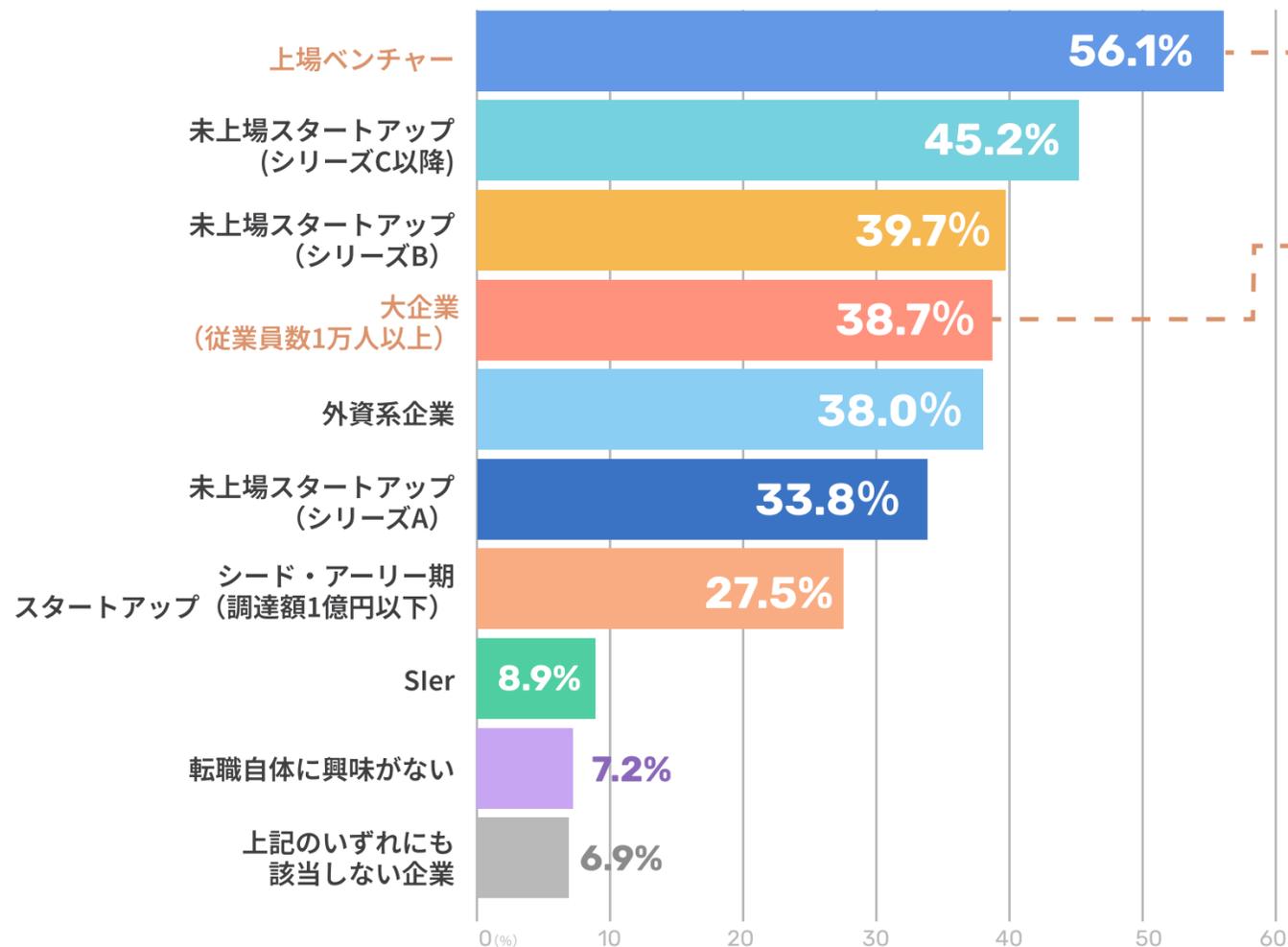
- 事業やプロダクトの将来性がある
- リモートワークやフレックスなどの働き方が理想にあう
- 残業時間、休日休暇などの労働環境面がホワイトである
- 技術・開発環境への理解・投資がある
- 資本力や資金調達面で安定している
- 会社の知名度・ブランド力がある
- 自分の経験・スキルを存分に活かせる
- 一緒に働く人たちの雰囲気・年齢層が合っている
- 経営方針・社風がマッチしている
- 評価や人事制度に対する納得感が高い
- 開発組織とビジネス側、経営層との関係性が良い
- その他

04 注目企業・キャリア

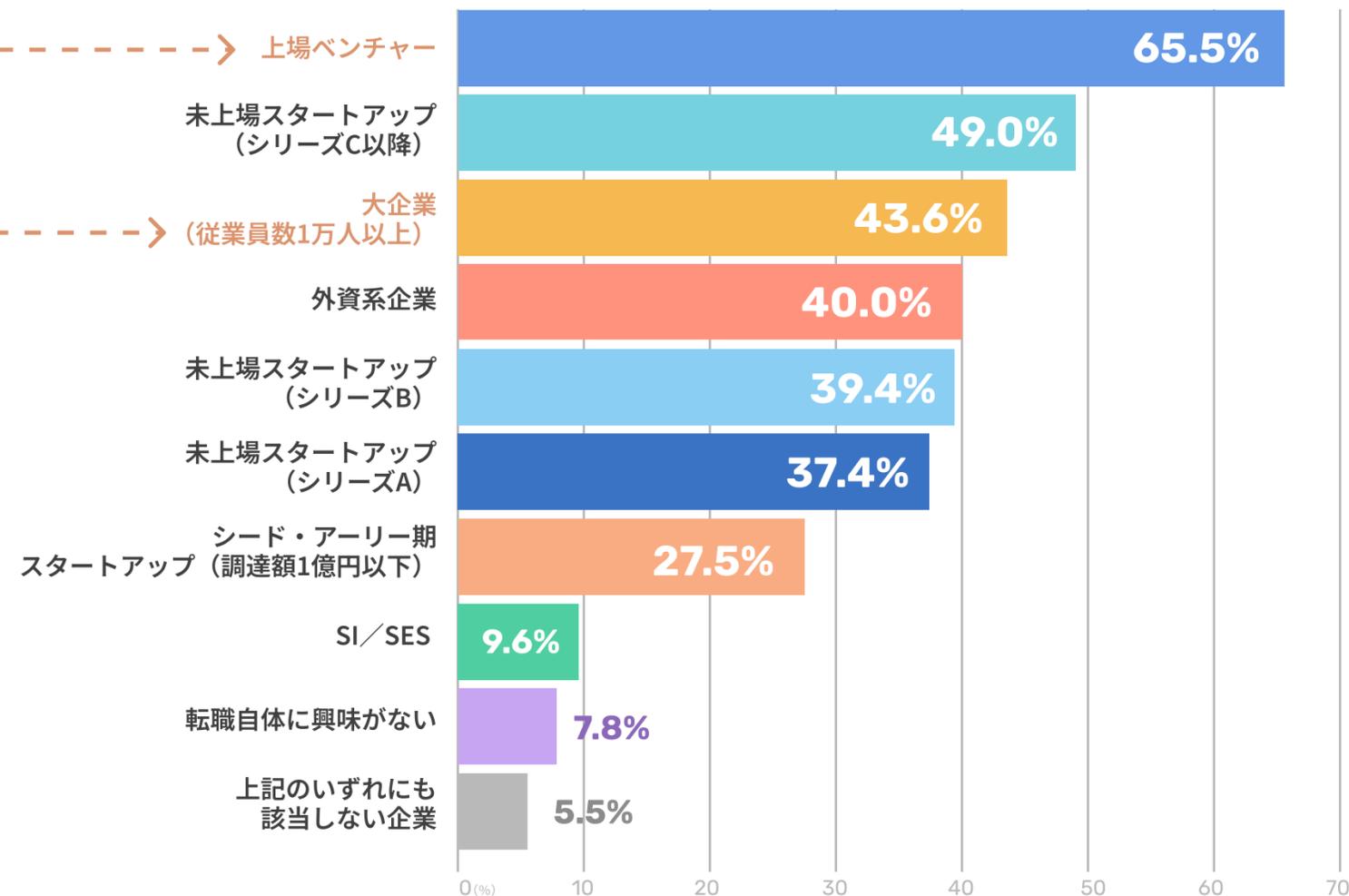
「上場ベンチャー・大企業」の注目度が前回調査（2023年9月）と比較してアップしている

設問 転職先として前向きに考える企業のタイプとして、あてはまるものを全て教えてください

前回調査



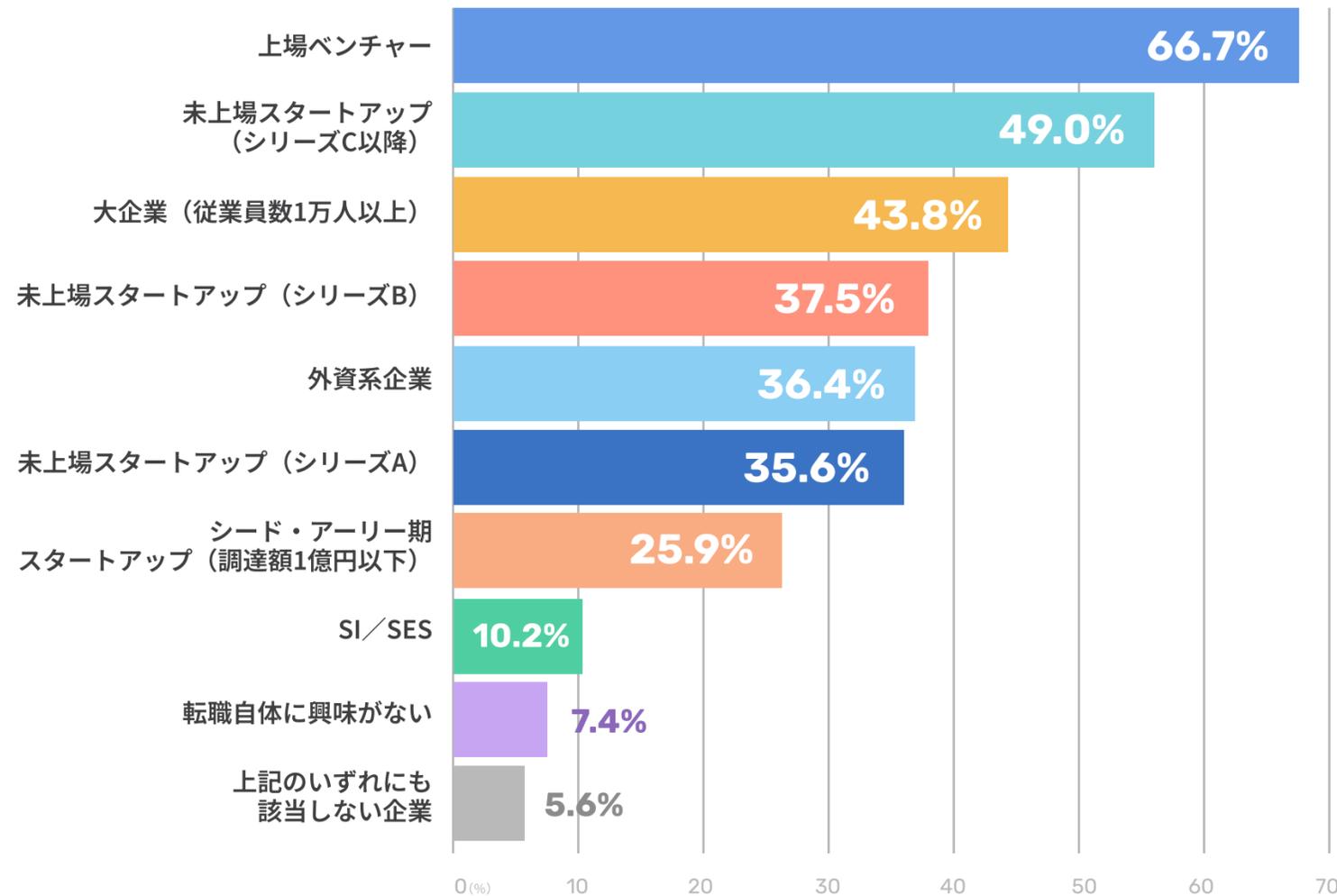
今回調査



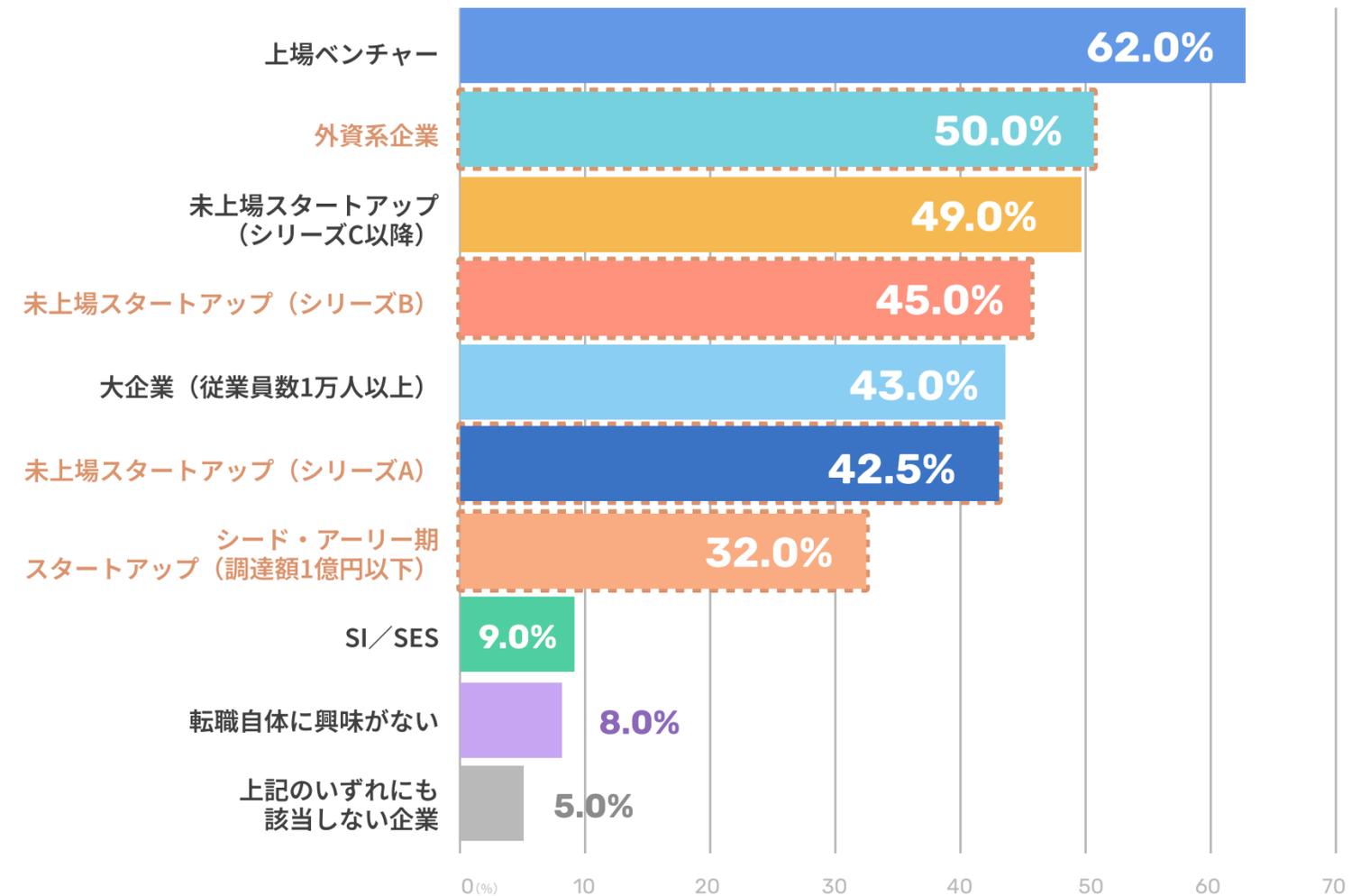
年収800万円未満・以上で比較すると、年収800万円以上層では「外資系企業・未上場スタートアップ(シリーズA/B/シード・アーリー)」の注目度が高い

設問 転職先として前向きに考える企業のタイプとして、あてはまるものを全て教えてください

年収800万未満



年収800万以上

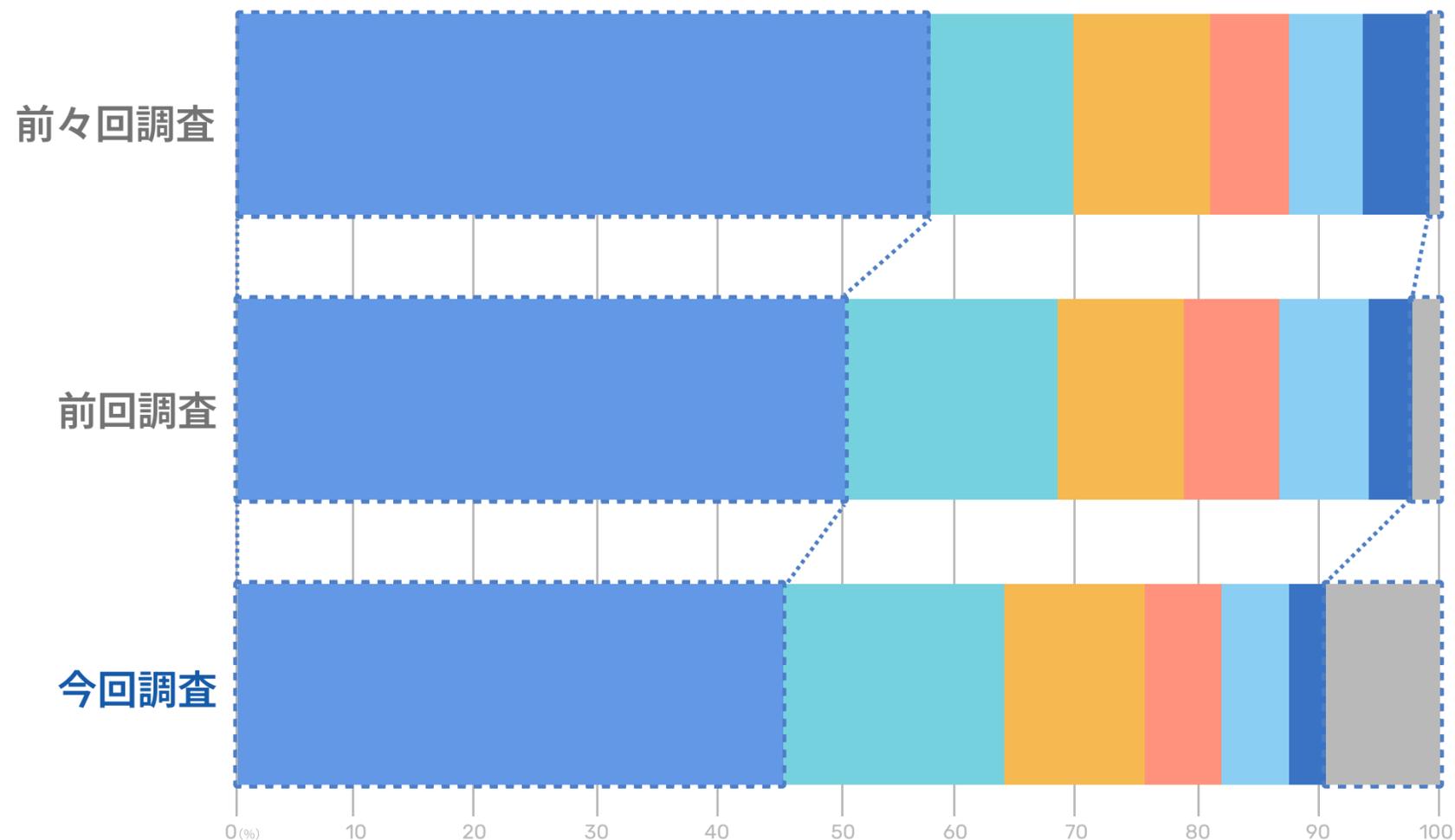


「技術スペシャリスト」の割合が一番多いが、前回調査(2023年9月)と比較すると約5%減少 「わからない」の回答は3.6%→9.5%に増加

設問

どのようなキャリアパスに興味がありますか？最もあてはまるものを選んでください

興味のあるキャリアパス



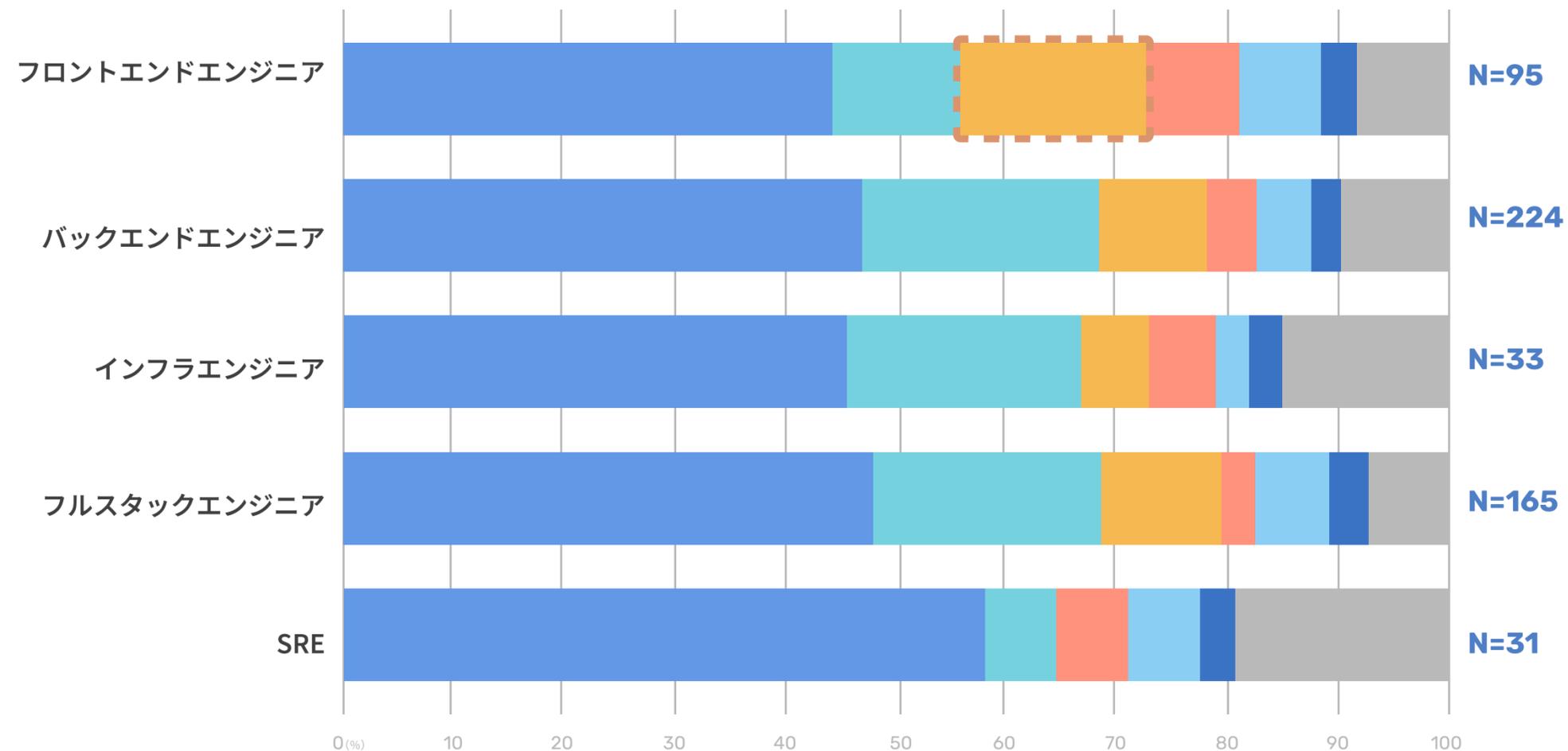
【凡例】

- 技術スペシャリスト
- 組織マネージャー
- プロダクトマネージャー
- エンジニアの知見を生かした別の職種
- 起業
- その他
- 分からない

フロントエンドはプロダクトマネージャーを志す割合が他職種に比べて高い傾向にある

設問 どのようなキャリアパスに興味がありますか？最もあてはまるものを選んでください

職種別の回答



【凡例】

- 技術スペシャリスト
- 組織マネージャー
- プロダクトマネージャー
- エンジニアの知見を生かした別の職種
- 起業
- その他
- 分からない

設問 興味のあるキャリアパスの回答をされた理由・背景を教えてください

技術スペシャリスト：「技術が好き」「マネジメントに適性がない」などの回答が多数

技術や開発が好き（239回答）

- この先も技術で食べていきたいという想いがある。技術が好き。
- 技術が好きなので飽きるまでは自分のスキルを磨き続けたい。
- プロダクトを作ることが楽しい。人と関わらなくて済む仕事はないが、技術に関わらない仕事は多い。プロダクトを作って使ってもらって売り上げにつながると喜びがあると感じている。

マネジメントに適性がない（34回答）

- ピープルマネジメントはやったことあるが前向きになれない。それ以外ならたぶんなんでもやれる。テックリードかプロダクトマネージャーが直近イメージ湧く。
- チームリーダーのようなものを任されるようになったが、楽しくない。
- 単純に技術を身につけるのは楽しい。マネージメントは自分には向いてないと思うので、プレイヤーでいたい。

その他回答

- 技術や仕組みを自分で根本的に理解したうえで業務的価値を生み出したいため。
- CTOとして方向付けを行う仕事をしたい。
- VRやメタ、AIなど管理職をやってる場合じゃ無い気がします。この流れについて行くには、実際に現場にいた方がやり甲斐を感じられます。

■ **組織マネージャー**：「**マネジメントへの興味関心や適性の有無**」が多数。「**市場価値がある・技術を極める限界を感じた**」という回答も。

マネジメントへの興味 (58回答)

- 最近の興味関心として、マネジメントサイドに移行しつつあるため。
- 組織・人を見ることに興味があるから。
- 人と向き合う時が1番やりがいを感じるため。

マネジメントに適性がありそう (31回答)

- 自分の性格的にあっていると思うから。
- 以前はスペシャリストを目指していたが、実際にスペシャリスト職の上司を見て、遠く及ばない（というよりもこの人ほどに技術を突き詰めて行けると思えない）と思った。その上で自分の日々の活動を振り返ってみると、人に教えたり、スケジュール管理をしたり、エンジニア業務は良いものを作るための手段の一つと捉えていたり、マネージャーとしての動きのほうがあっているのかもと思った。
- どちらも経験しているが、経験的に技術スペシャリストよりも、マネジメント含めジェネラリストの方がやっていて楽しかったため。

その他回答

- AIの活用により、かえってこれまで以上に組織（人の集まり）でより大きい成果を出すことが今後の社会、キャリアでより重要視されるだろうと予想しているため。
- 技術力ももちろん磨いていきたいが、結局組織で上のほうに行くにはマネジメント力が必要になるため。
- 生成AIの進化により、テックスキルのみで戦うのは自分には得策ではないと思ったからです。

■ **プロダクトマネージャー：「ビジネスやプロダクトに興味がある」「市場価値が高い」の回答が多数。**

ビジネスやプロダクトに興味がある (31回答)

- ビジネス側の領域にも携わってみて、広い視野で開発の現場を見れるようになりたい。
- ビジネスを作れる技術者になりたい。
- 組織マネージャーも考えたが、人よりもプロダクトにフォーカスした方が自分にあってる。

市場価値が高い (8回答)

- 技術をどのように使用するのかを考えていける力が今後必要だと感じているため。
- 給与を稼ぐにはPMなどのキャリアが求められると感じているから。
- どの企業に行っても確実に役に立つので。

その他回答

- 文系で未経験からの転職なので、エンジニアのスキルは他の人たちに勝てる気がしません。それよりもプロジェクトの管理などが向いていると思います。
- プレイヤーとしてその方針違うだろ！ということがちょいちょいあるため。
- 事業が成り立たないと、いくら良い技術があっても働いている意味がないから。

エンジニアの知見を生かした別の職種：「過去経験がある」の回答が多数

過去経験がある（7回答）

- 元々、リテールで販売員として働いていた経験があるため、顧客思考があるため。
- プロダクト企画や事業創出を検討するようなプロジェクトに長年参画していたため。
- 営業スキルが役に立ちそう。

その他回答

- より顧客と近いところで、今までの経験を活かしたい。
- 技術的に専門性を伸ばすことよりも幅広く身につけることが好きなため。
- 同様に他業種のスキルを身につけて組み合わせることが得意だと思うため。
- 自分の技術力に頭打ち感があるから。

起業：「やりたいことがある」の回答が多い

やりたいことがある（46回答）

- 自分のサービスを持ちたいから。
- やりたいことがあるため。
- 自分で企画したサービスを世に出してみたい夢があるから。

その他回答（8回答）

- 会社員より自由な働き方を探している。
- 自身の才覚で自由に事業をしてみたいから。
- 雇われて評価されるのが向いていないので、副業を始めて事業化したい。

わからない

- 今ここにある緊急性の高い課題を解決するのが好き(得意?)であり、そのようなことばかりしてきたので、具体的なキャリアパス (どうなっていたいのか) が想像できないため。
- 技術は好きだが、年齢的にマネジメント力が求められるため、ゼロイチというより技術6マネジメント4ぐらいでできないかなあ、という気持ち
- 技術スペシャリストor組織マネージャーで悩んでいる テックリード、EMを経験してきた中で、絶対にどちらがいいというものがなく、それを探している段階のため。

Google、Microsoftなどの外資系企業に加えメルカリやサイボウズなどが人気を集めている

設問

働いてみたいと思う会社を具体的に3社あげるとしたらどの会社ですか？

回答結果

※回答が多かった上位10社。今回は同率を含めて12社表示。

Google

メルカリ

Microsoft (日本法人含む)

サイボウズ

LayerX

Amazon

サイバーエージェント

freee

SmartHR

LINEヤフー

ゆめみ

マネーフォワード

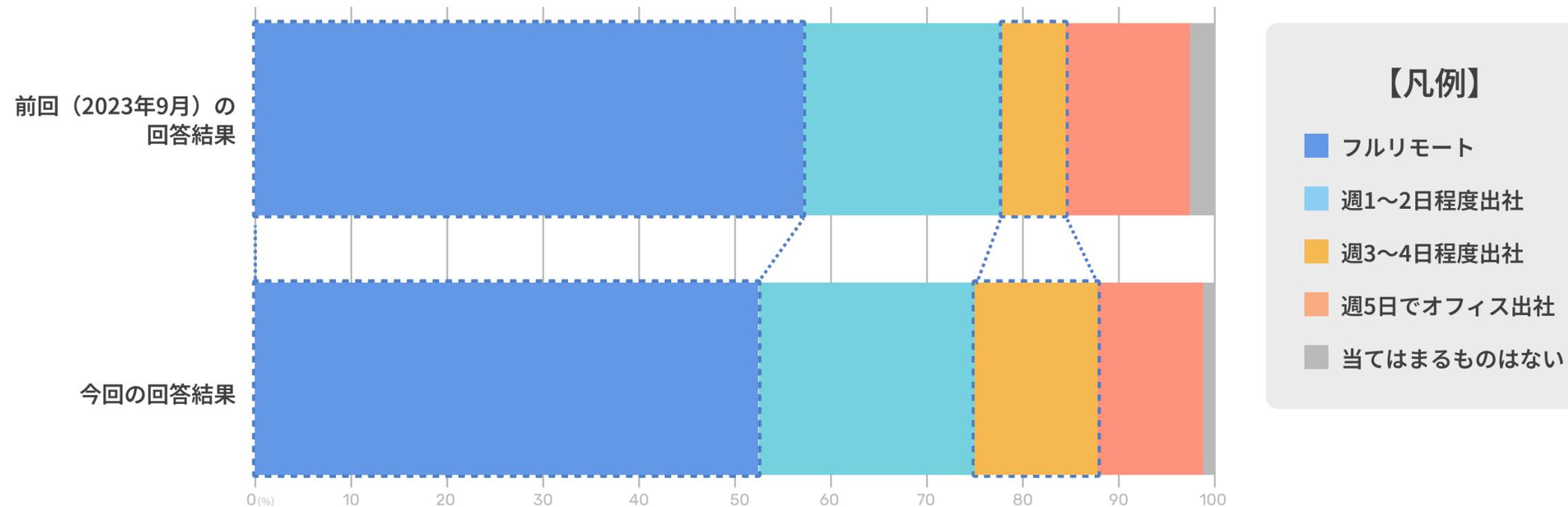
05 リモートワーク

前回調査時から「フルリモート」の割合が4.6%減少し「週3～4日」の出社の割合が6.2%増加

設問

現在のご自身の勤務状況について、当てはまるものを選んでください

回答比較



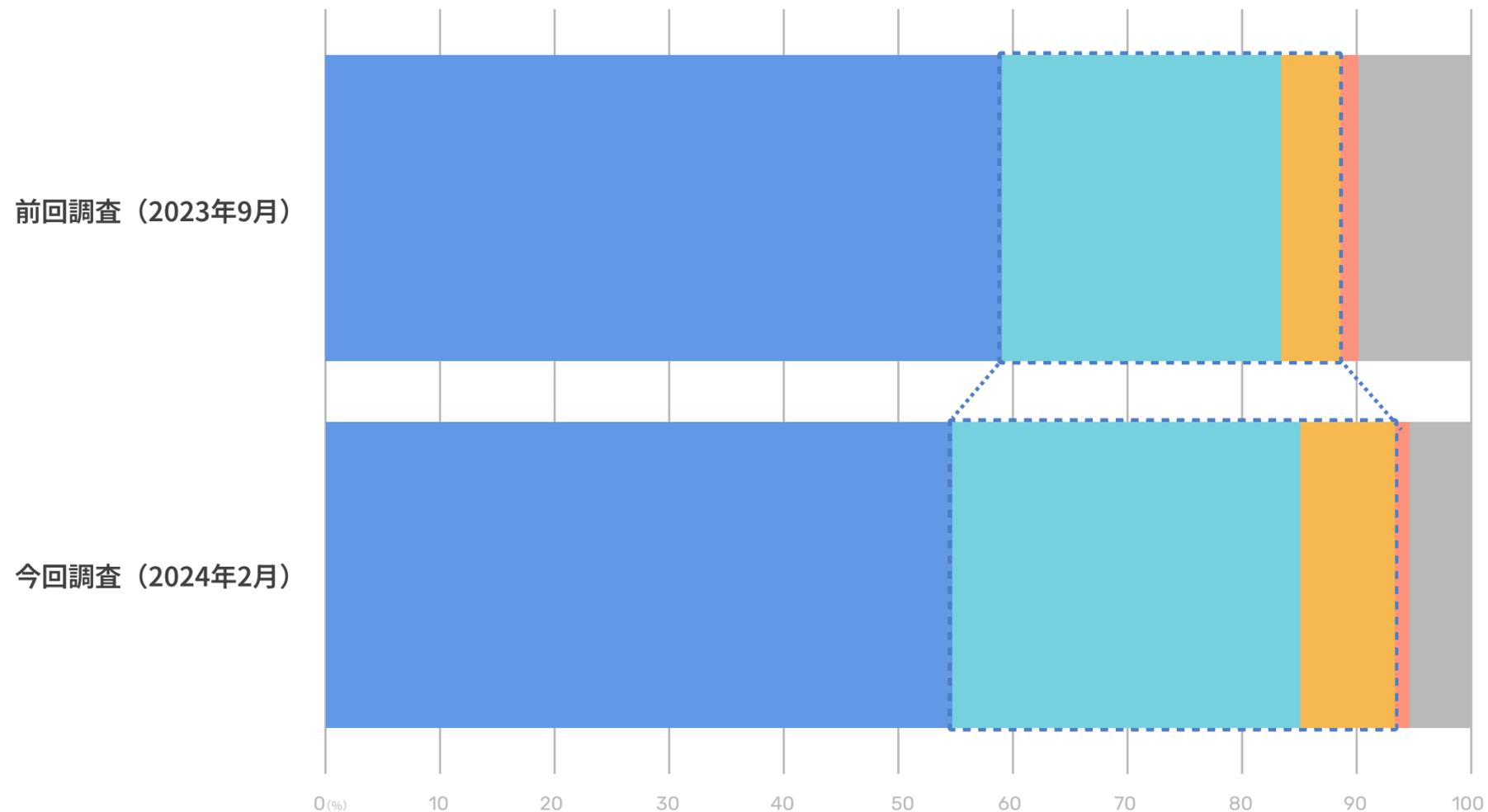
フルリモートの割合が減少し、週3～4日出社の割合が増える

週1~4日出社を希望する割合も前回調査（2023年9月）から9.2%アップ

設問

リモートワークの希望について、最も当てはまるものを教えてください

回答結果



【凡例】

- フルリモート
- 週1~2日程度出社
- 週3~4日程度出社
- 週5日でオフィス出社
- 当てはまるものはない

週1~4日の
出社希望の割合が増加

週1以上の出社希望の人は「出社によるコミュニケーションに価値を感じる」という回答が多い 出社頻度よりも「フレキシブルさ・自由さ」を重要視する声も

設問 リモートワーク頻度の希望について、ご回答の背景・理由を教えてください

■ 週1~4日出社を希望：「リモートにメリットはあるものの、一定量のコミュニケーションも重要」という回答が多数 一定量のコミュニケーションも重要（88回答）

- 基本はリモートベースを希望するが、適度に出社して対面での人間関係も構築したい。
- 基本的にはMTGなど会話しながら進める仕事が主であるため出社して進める業務+週に2日程度作業日があるとバランスがとりやすい。
- 顔を合わせた方が進む作業もあると思うが、週x日出社のように先に日数から決めることに意味を感じないため。
- 生産性と働き方の観点から自分自身リモートのほうがコントロールしやすく、働きやすいが適度に出社してチームメンバーとコミュニケーションを取りつつ情報を共有したいため。

■ 週5日出社を希望：「オフィス出社に問題がない」「会社設備がいい」などの回答あり

- コミュニケーションをスムーズにとるには出社が一番だから。
- 会社設備が良い。
- 個人的にオフィスでも全く問題ないため。リモートだと雑談が少ないのが嫌。

フルリモートを希望：「地方に在住」「通勤が無駄・ストレス」という回答が多い

地方に在住（88回答）

- ・地方在住で転居が難しいため。
- ・フルリモートだから遠方の仕事をする事ができる為。

通勤が無駄・ストレス（79回答）

- ・通勤時間が無駄でしかないと感じているから。オフィスが徒歩や自転車で（door to doorで）10-15分程度であれば出社でも構わない。
- ・移動時間が無駄だと思うから。月に数回のコミュニケーションのための出社は必要だが、週1など決めるのは妥当性がない。
- ・満員電車で毎日乗っていくメリットがない（行ってもほぼコードを書いて1日が終わる）。

無駄な時間を節約してその分、技術学習に時間を当てたい。

- ・電車通勤が苦痛。また、社会人になってすぐコロナ渦が始まりリモートワークが当たり前の生活を続けてきたため、出社に適応できない不安がある。

当てはまるものなしを選択：「こだわりなし」「自由度をもたせたい」などの回答あり

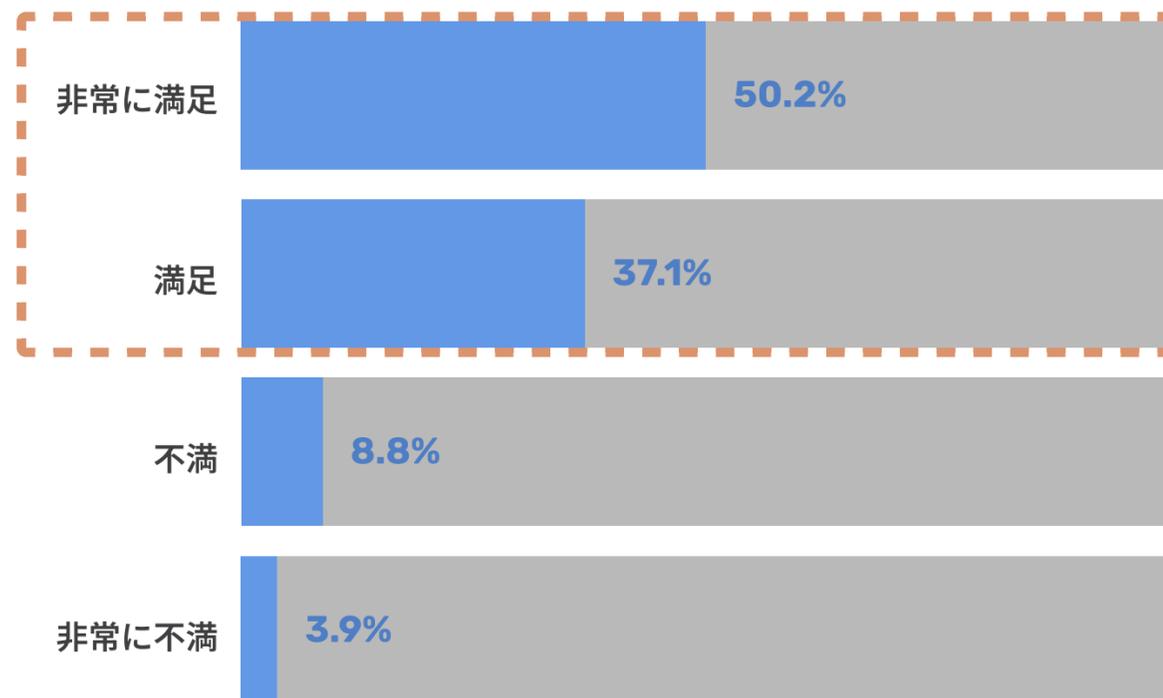
- ・フルリモートであろうが週5出社であろうが特にこだわりはなく、会社の規定に従う。
- ・頻度については特に問題としておらず、フレキシブルに対応できることが一番いいと思っている。
それよりもオンラインでもオフラインでも働く環境に気を配るカルチャーであることが希望です。
- ・フルリモートでなくても良いが、週に一日以上意味もなく必ず出社、というのは理解できない。
（会議と同様、いてもいなくても変わらないなら行かなくて良い）
- ・固定にする必要は感じておらず、必要に応じて選択できるようにしてほしい。

リモート頻度に満足している割合は87.3%

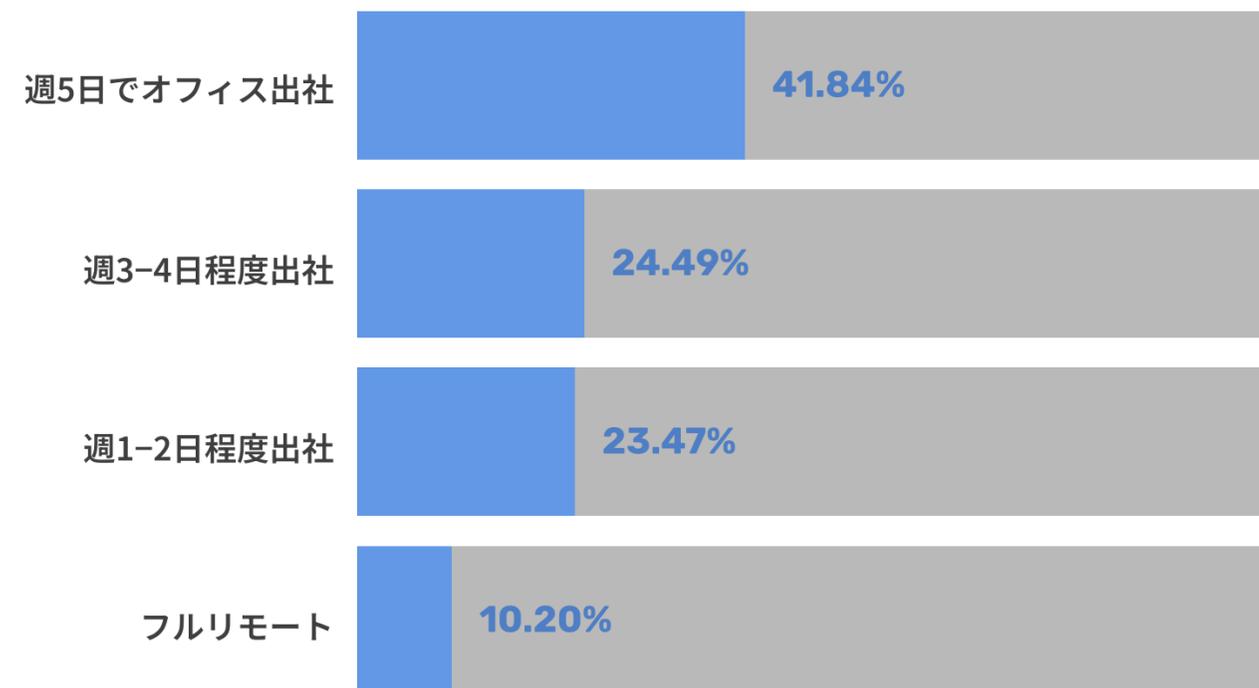
一方で週5日でオフィス出社の場合は「不満・非常に不満」と回答する人の割合が多い

設問 現在の職場のリモートワーク頻度について、満足度を4段階で教えてください

回答結果



「不満・非常に不満」と回答した人のリモート頻度 (N=98)



リモート頻度に不満を抱えている人の約半数は週5日出社

06 技術

JavaScriptやTypeScriptの利用が多い傾向

設問

現在主に業務で使用している言語・技術を最大3つまでご選択ください

1  JavaScript 39.7%

2  TypeScript 35.0%

3 SQL 26.2%

4  PHP 19.2%

5  Python (Webサービス開発系) 17.0%

6  Ruby 16.3%

7  Java 16.0%

8  Go 14.3%

9  Python (データ分析・機械学習系) 9.3%

10  Kotlin 9.3%

11  C# 6.5%

12  Swift 5.7%

13  Dart (Flutter) 4.4%

14  C 3.2%

14  C++ 3.2%

16  Rust 1.8%

17  Scala 1.7%

18  Perl 1.3%

19  MATLAB 0.8%

20  Python (ブロックチェーン系) 0.7%

20  Solidity 0.7%

22  Objective-C 0.7%

23  COBOL 0.5%

24  Lua 0.5%

25  R 0.4%

26 Assembly 0.1%

26  Elixir 0.0%

26  Vyper 0.0%

26 その他 11.7%

TypeScriptやGo、Rustに高い興味が集まっている

設問 今後習得または強化したい言語・技術を最大3つまでお答えください

1  TypeScript 42.5%

2  Go 37.2%

3 Rust 28.4%

4  Python (データ分析・機械学習系) 21.9%

5  Python (Webサービス開発系) 18.3%

6  JavaScript 16.6%

7  Ruby 11.3%

8  Dart (Flutter) 10.0%

9  SQL 9.1%

10  Kotlin 8.8%

6. 技術 | 今後習得・強化したい言語

11  Swift 8.0%

12  Java 6.6%

13  PHP 5.6%

14  Python (ブロックチェーン系) 4.4%

15  C# 3.5%

16  C++ 3.1%

17  Scala 2.2%

18  Elixir 1.7%

19  Solidity 1.2%

20  C 1.0%

21  R 0.9%

21 Assembly 0.9%

23  MATLAB 0.5%

23  Lua 0.5%

25  Objective-C 0.1%

25  Perl 0.1%

25  Vyper 0.1%

25  COBOL 0.1%

-- その他 6.6%

言語・技術別の平均年収はGoが一番高く814.8万円 前回（2023年9月）から約80万円アップという結果に

設問 現在主に業務で使用している言語・技術を最大3つまでご選択ください

使用技術

1	Go	814.8万円	前回734.1万円
2	Dart	735.3万円	前回716.7万円
3	Python (機械学習)	744.1万円	前回792.1万円
4	Java	705.9万円	前回721.1万円
5	C	695.0万円	前回データなし
6	Python (Web)	692.0万円	前回705.7万円
7	Kotlin	691.4万円	前回865.0万円

8	TypeScript	689.4万円	前回718.2万円
9	C++	677.0万円	前回データなし
10	Ruby	670.8万円	前回703.8万円
11	Swift	663.1万円	前回データなし
12	SQL	660.3万円	前回データなし
13	JavaScript	636.2万円	前回651.2万円
14	C#	627.0万円	前回574.0万円
15	PHP	588.3万円	前回598.6万円

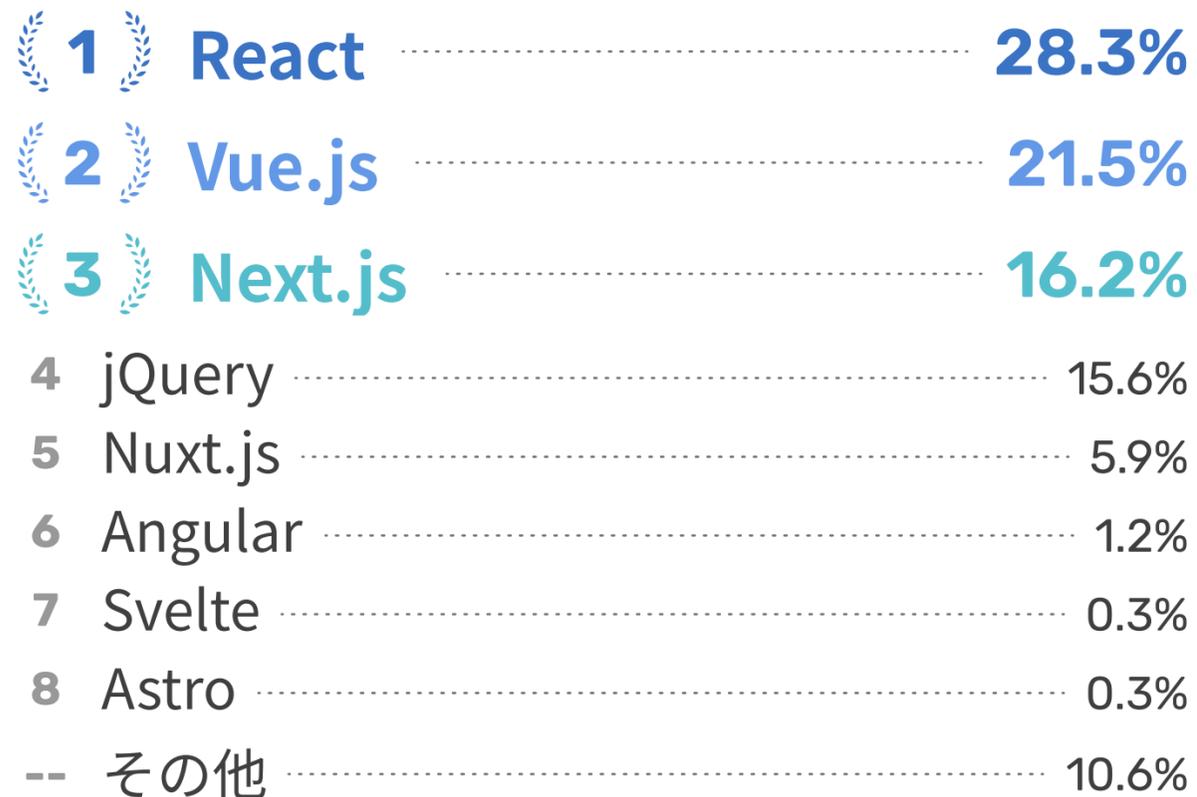
※N=20以上の項目に絞って表示
※前回（2023年9月）N数が20に満たない場合は「前回データなし」と記載
※Kotlinは前回調査時に年収2,000万円の回答が1名あったため、平均年収が高く算出されている

使用技術/習得・強化したい技術ともにReactが高い結果に

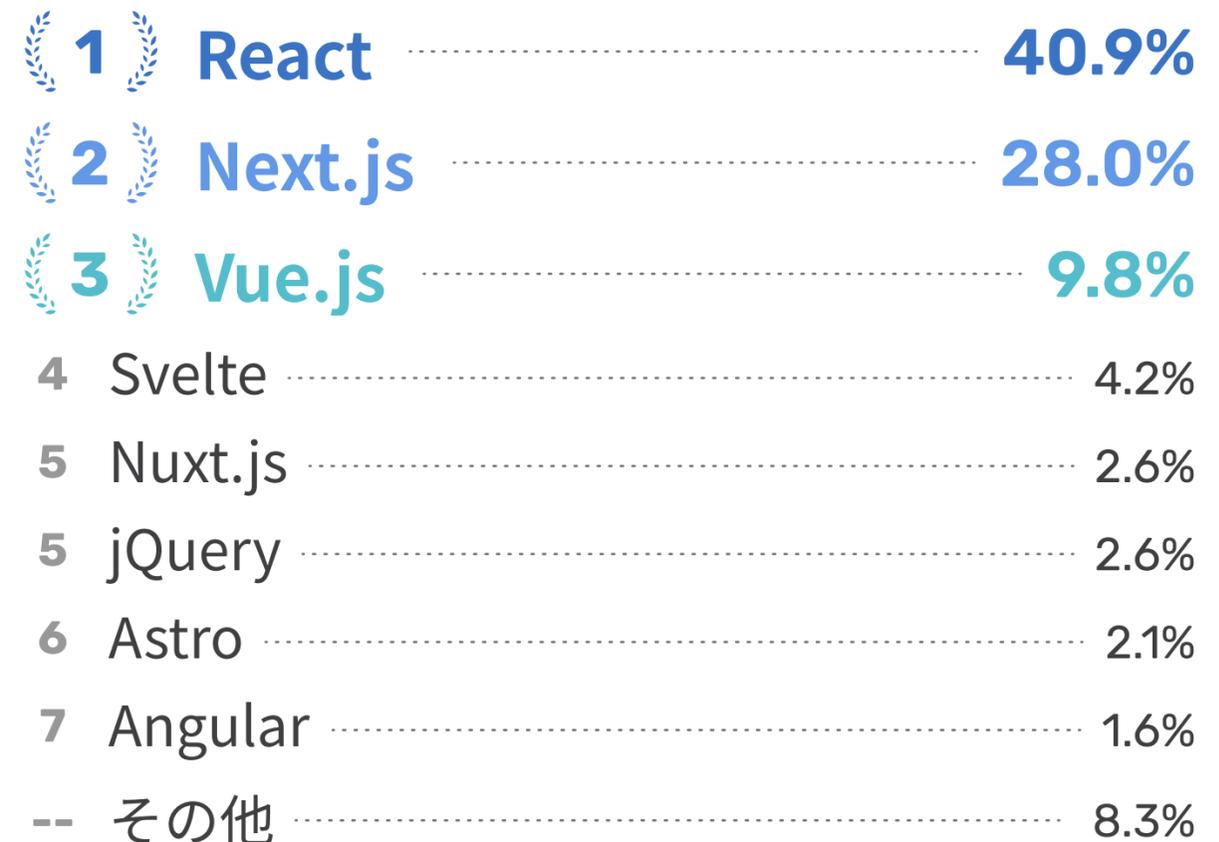
設問

(JavaScript、TypeScriptを選択した方へ)使用しているフレームワークやライブラリなどをお答えください
(JavaScript、TypeScriptを選択した方へ)習得または強化したいフレームワークやライブラリをお答えください

使用技術



習得・強化したい技術



※前回調査時(2023年9月)までは「複数回答可」だったため、回答結果に差がある可能性があります。

React利用者の平均年収は699.5万円でトップ

設問

(JavaScript、TypeScriptを選択した方へ) 使用しているフレームワークやライブラリなどをお答えください
現在の年収(本業のみの収入)について当てはまるものをお答えください

1 |  React

699.5 万円

2 |  Vue.js

628.1 万円

3 |  Next.js

617.7 万円

4 |  jQuery

555.2 万円

※利用フレームワーク・ライブラリにおいて、回答がn=20以上あったもの限定して算出

※前回調査時(2023年9月)までは「複数回答可」だったため、回答結果に差がある可能性があります。

生成AI技術・ブロックチェーン技術の注目度が高い 業界は医療系・フィンテックに加え、ゲームや物流などの回答がみられた

設問 現在、注目している技術や業界、職種、その他トレンドがあれば教えてください（任意）例：〇〇業界、〇〇（技術・言語名）など

生成AI技術

- 生成AIでプログラミングが半自動になりそうな感覚になってきたので、業務知識かAI技術に重きをおいて学習していきたいと思いました。
- 生成AI技術の発展に勢いがあり、この状況で技術を追いかけ身につけることが強みになると実感しているため。

ブロックチェーン

- 今後、必ず日常に溶け込む技術だと信じているから。
- ブロックチェーン技術がもたらす変革の可能性は、Internet黎明期を想起させます。

医療・ヘルスケア業界

- 医療現場はデジタル化が推進される中でホットである印象を持つ。LLM 業界は、今後の業務をより効率的に行っていく上で欠かせないものだと認識しているため。
- 医療業界：無くない業界であり、AIなどの性能向上で更に発展が見込まれるため。

フィンテック業界

- 老後2,000万円問題や、新NISAなど、投資して貯蓄する流れがあり、これからいろいろなサービスが登場するのではと思っているので。
- ブロックチェーンなどの新技術が広く使われてくるのか興味があるため。

ゲーム業界

- 映像表現への応用可能性。
- Steam deckを購入し、複数OS向けのゲーム開発に興味を持ったため。

物流業界

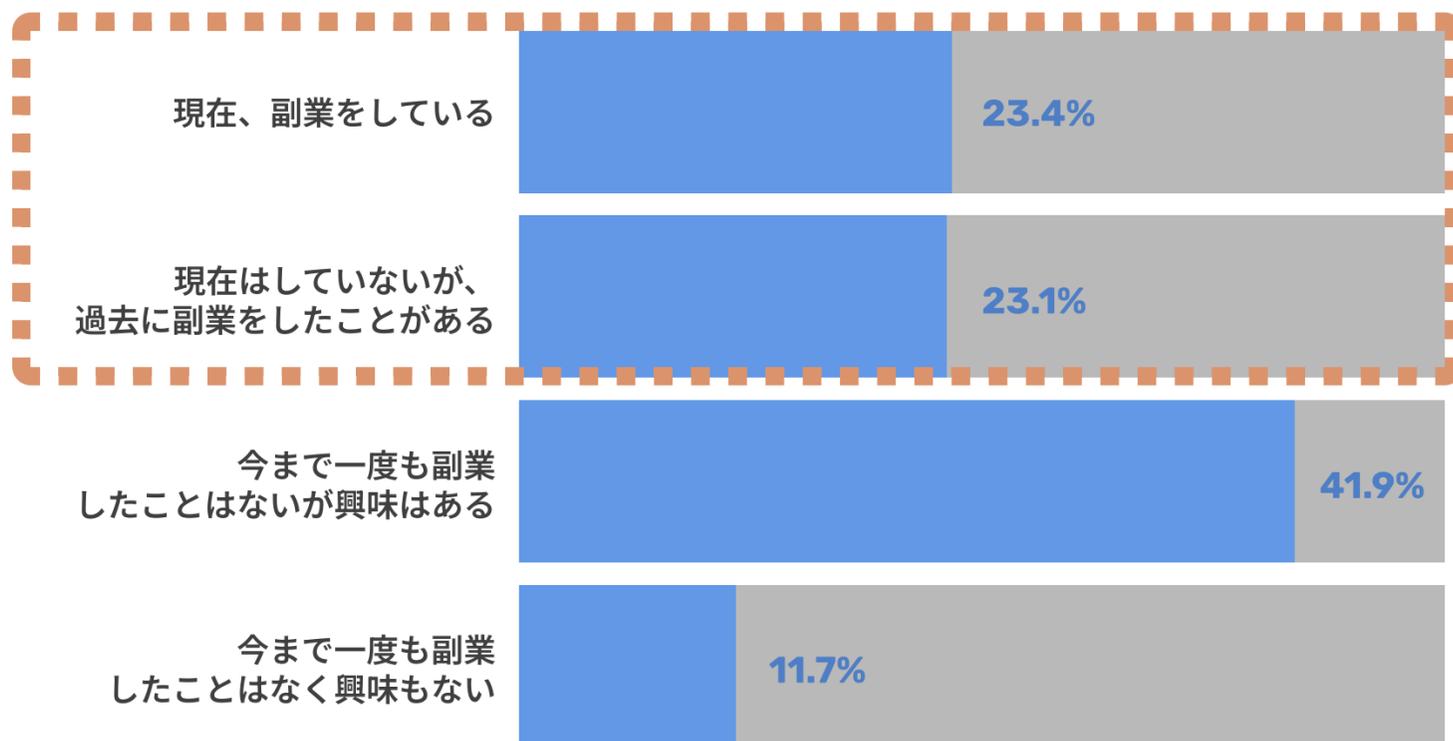
- 物流・運送業界 2024年問題があるため。
- 物流業界についてはテクノロジーで一定解決できる解決すべき社会課題なので。

07 副業

副業経験ありのエンジニアが46.5%で前回調査時と大きな割合の変化はなし

設問 副業について、最も当てはまるものを教えてください

回答結果



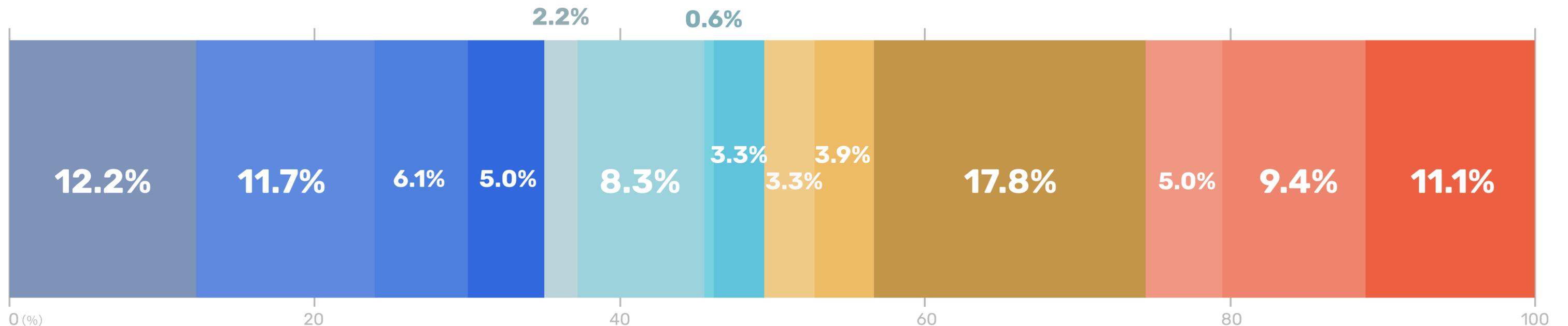
過去回答

- 2023年9月調査：副業経験あり 45.2%
- 2023年2月調査：副業経験あり 34.9%
- 2022年9月調査：副業経験あり 36.1%
- 2022年2月調査：副業経験あり 32.0%

現在副業をしているエンジニアの副業収入の平均は年間109.1万円で 2023年9月調査時 (=116.8万円) と大きく変化なし

設問

(副業経験がある方に聞きます) 副業での年間収入について、当てはまるものを教えてください



平均収入 年間109.1万円

中央値 80万円以上～90万円未満

2023年9月 (前回) 調査時の平均収入は116.8万円

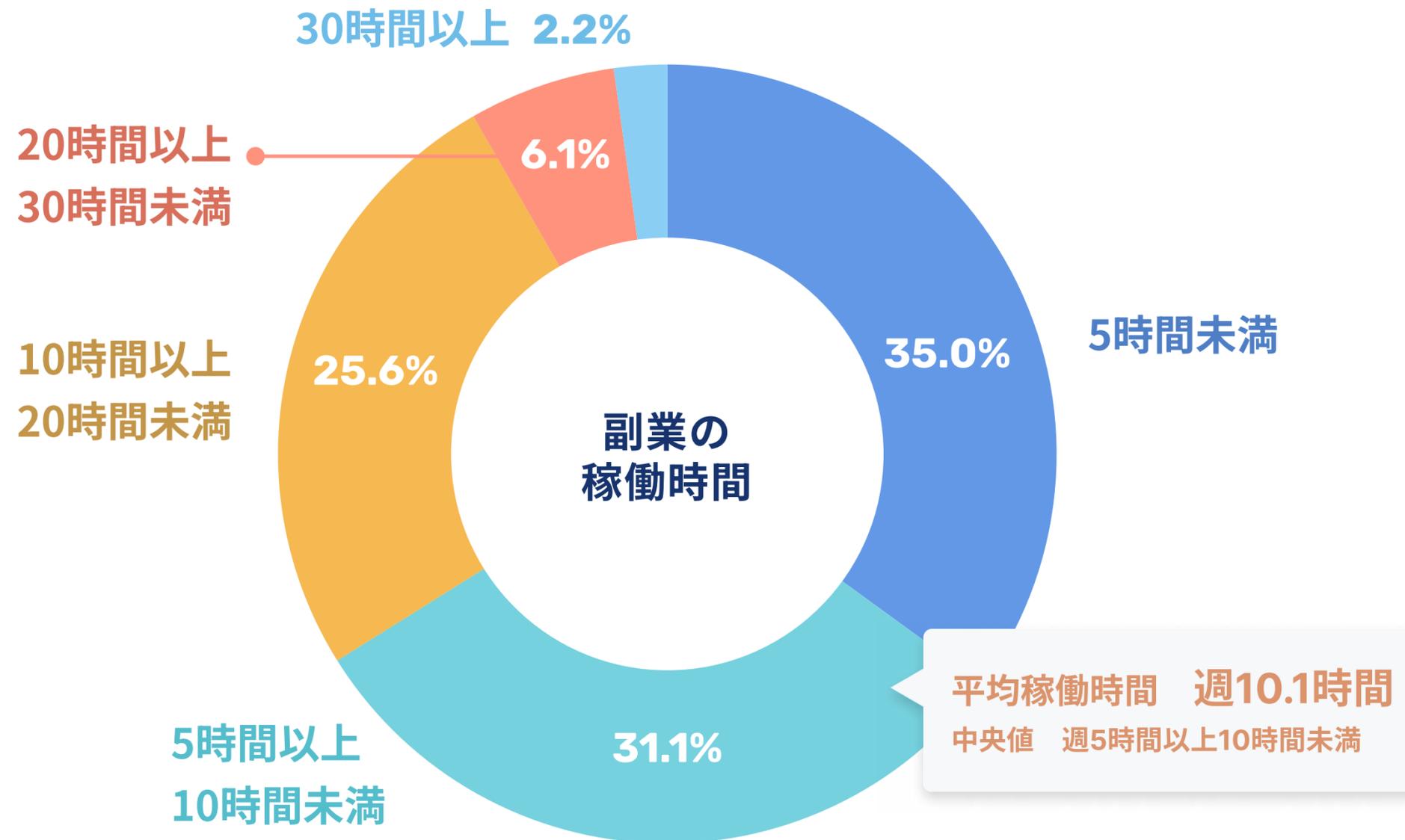
【凡例】

- 10万円未満
- 10万円以上～20万円未満
- 20万円以上～30万円未満
- 30万円以上～40万円未満
- 40万円以上～50万円未満
- 50万円以上～60万円未満
- 60万円以上～70万円未満
- 70万円以上～80万円未満
- 80万円以上～90万円未満
- 90万円以上～100万円未満
- 100万円以上～150万円未満
- 150万円以上～200万円未満
- 200万円以上～300万円未満
- 300万円以上

副業の稼働時間は週5時間未満が多数で35.0%、平均時間は週10.1時間

設問

(副業経験がある方に聞きます) 副業の1週間あたりの稼働時間を教えてください

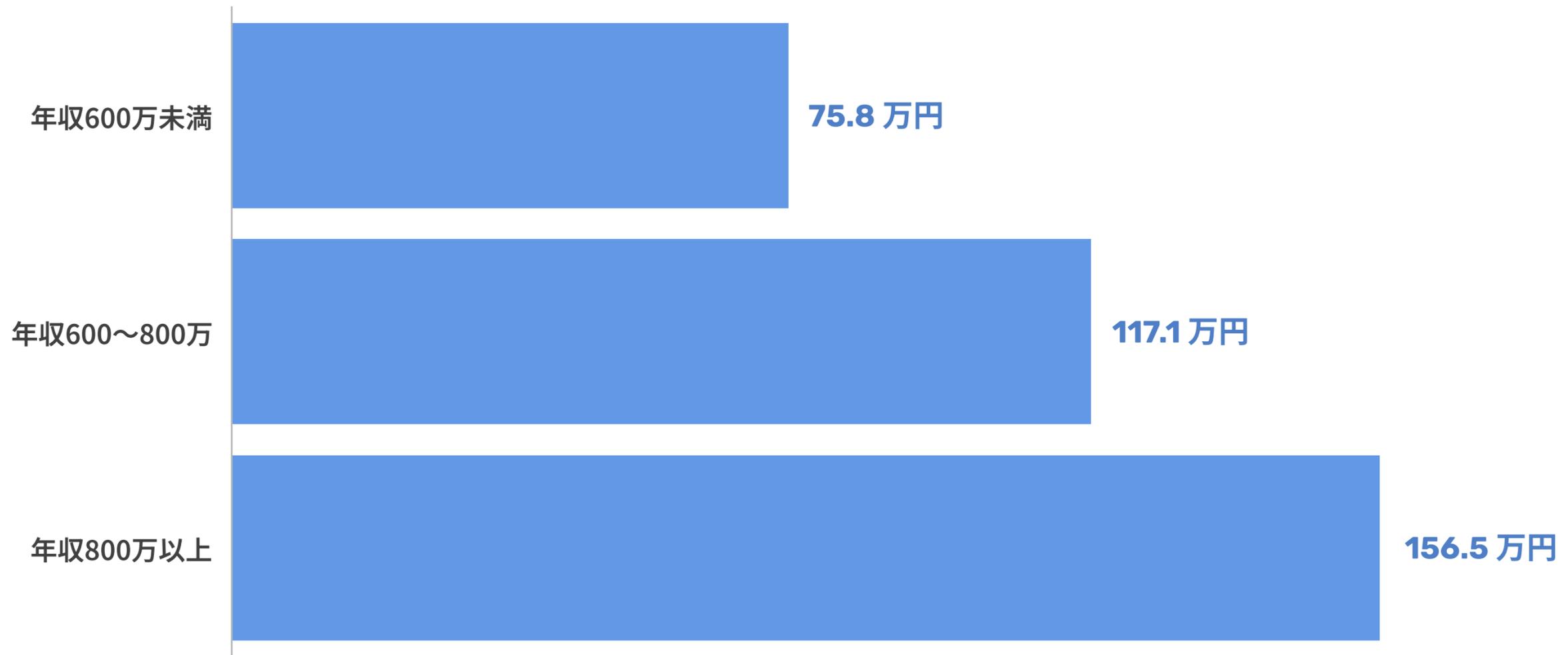


年収と副業収入は比例しており、年収600万円未満と年収800万円以上だと約2倍の差がある

設問

(副業経験がある方に聞きます) 副業での年間収入について、当てはまるものを教えてください

回答結果

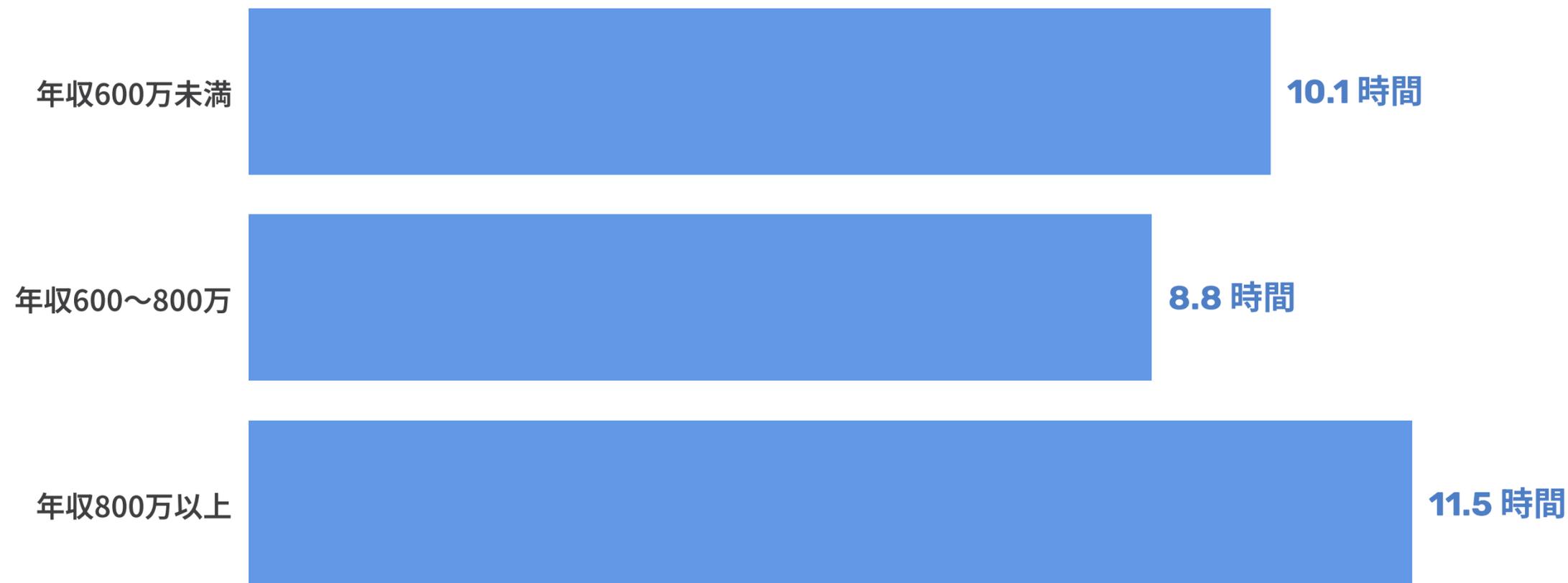


副業の稼働時間は年収と比例しておらず、週10時間程度で変わらず

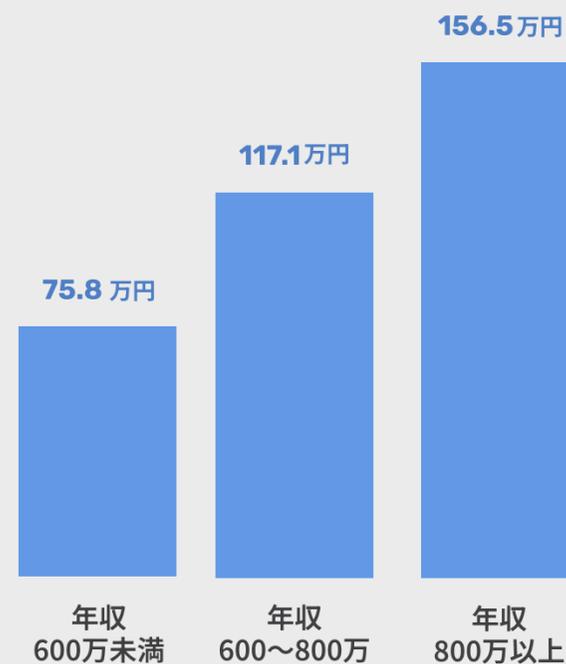
設問

(副業経験がある方に聞きます) 副業の1週間あたりの稼働時間を教えてください

回答結果



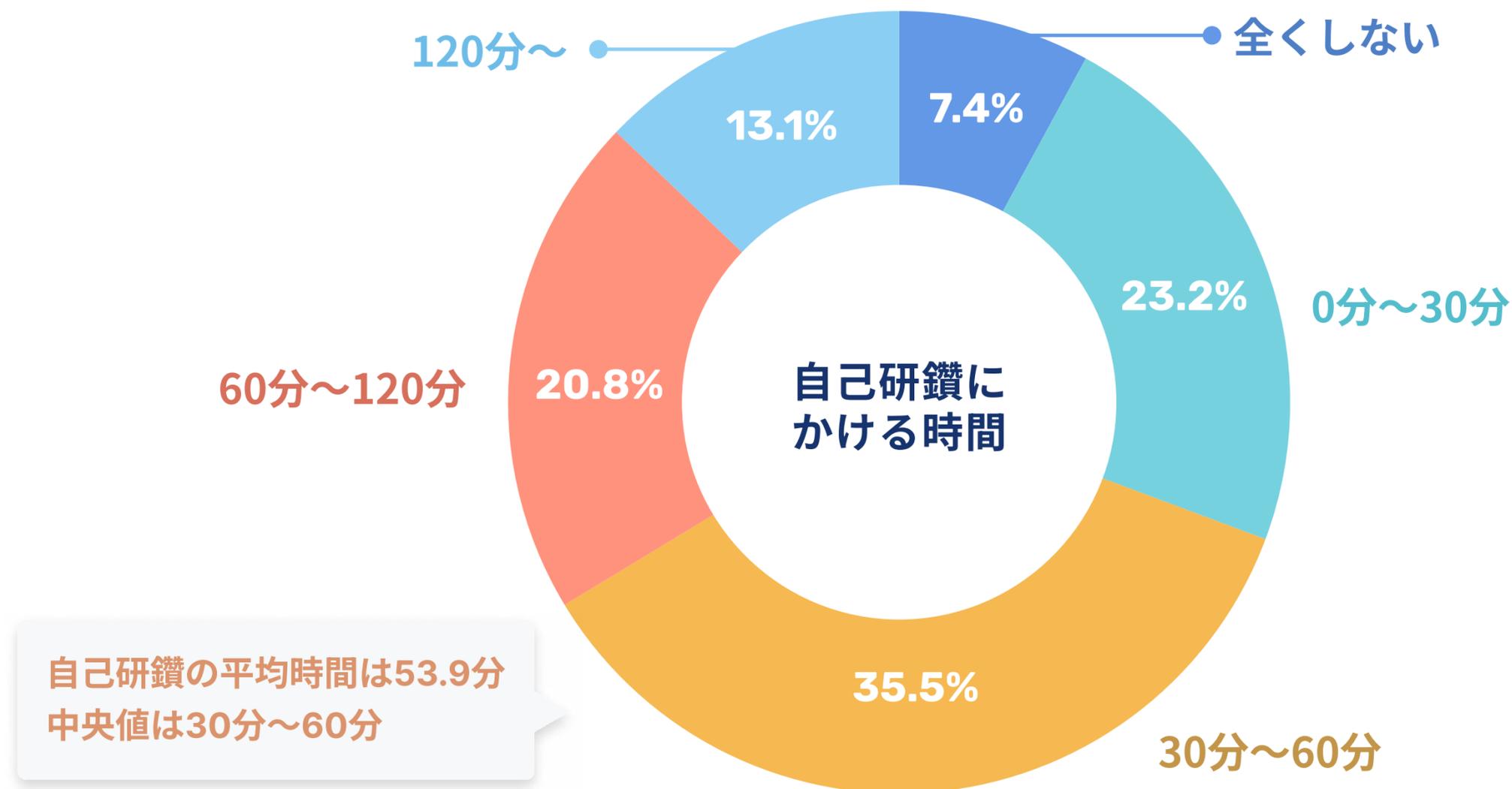
副業での年間収入



08 自己研鑽

自己研鑽時間は1日30～60分が多く35.5%平均時間は53.9分

設問 業務時間外に自己研鑽をする時間は1日あたりどのくらいありますか？



自己研鑽の内容は「技術書の購読」「語学学習」「開発活動」が多い

設問

自己研鑽すると回答した方へ、自己研鑽で実施していることをなるべく具体的に教えてください。※複数回答可

1	技術書の購読	247回答
2	語学学習（英語など）	190回答
3	開発活動	158回答
4	インターネット上の技術記事回答やSNS、Youtube動画によるインプット	100回答
5	イベントやセミナーへの参加	46回答
5	資格の対策	46回答

7	Udemy	33回答
8	ブログなど記事の執筆・投稿	27回答
9	競技プログラミング	11回答

その他回答

- 最新の論文を原論文のままよむ
- 投資や財務の勉強
- 中小企業診断士の勉強
- キャリアコンサルティング
- ビジネスドメインや起業、金融に関するノウハウを隙間時間に学習している

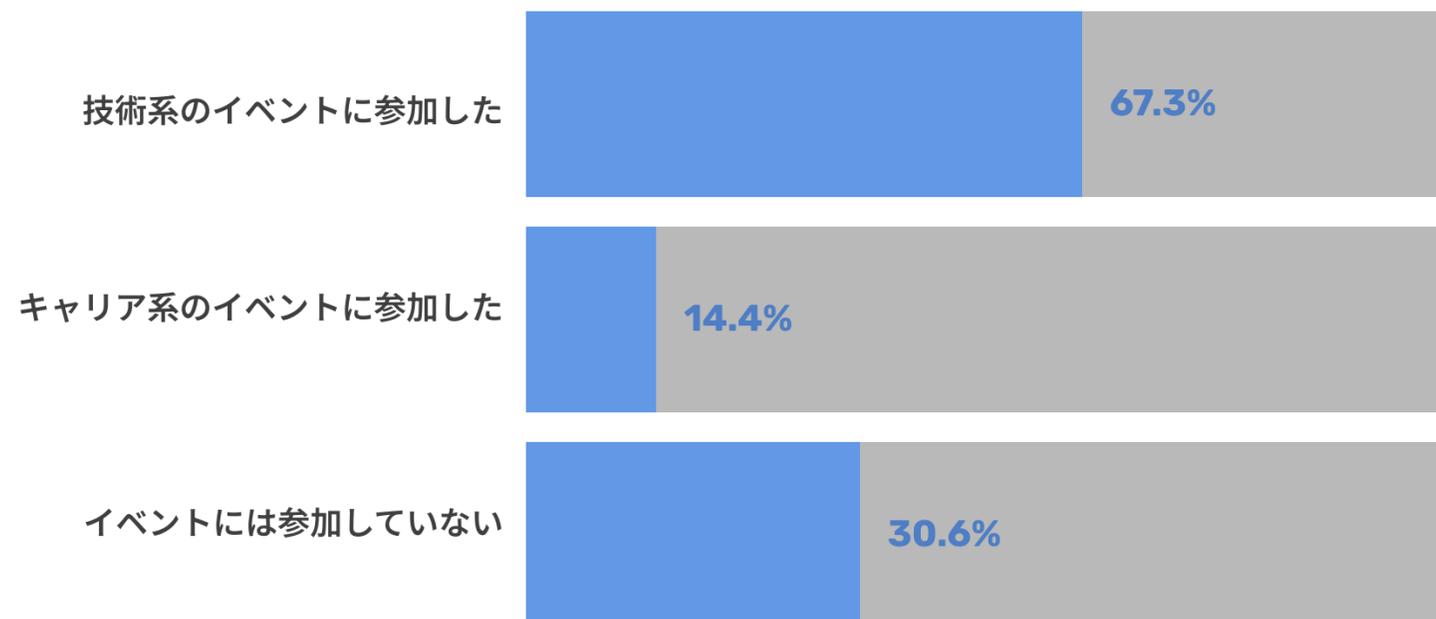
直近1年間でオンラインイベントに参加したことがある割合は67.3%で半数以上 オフラインも1/3超がイベント参加経験あり

設問

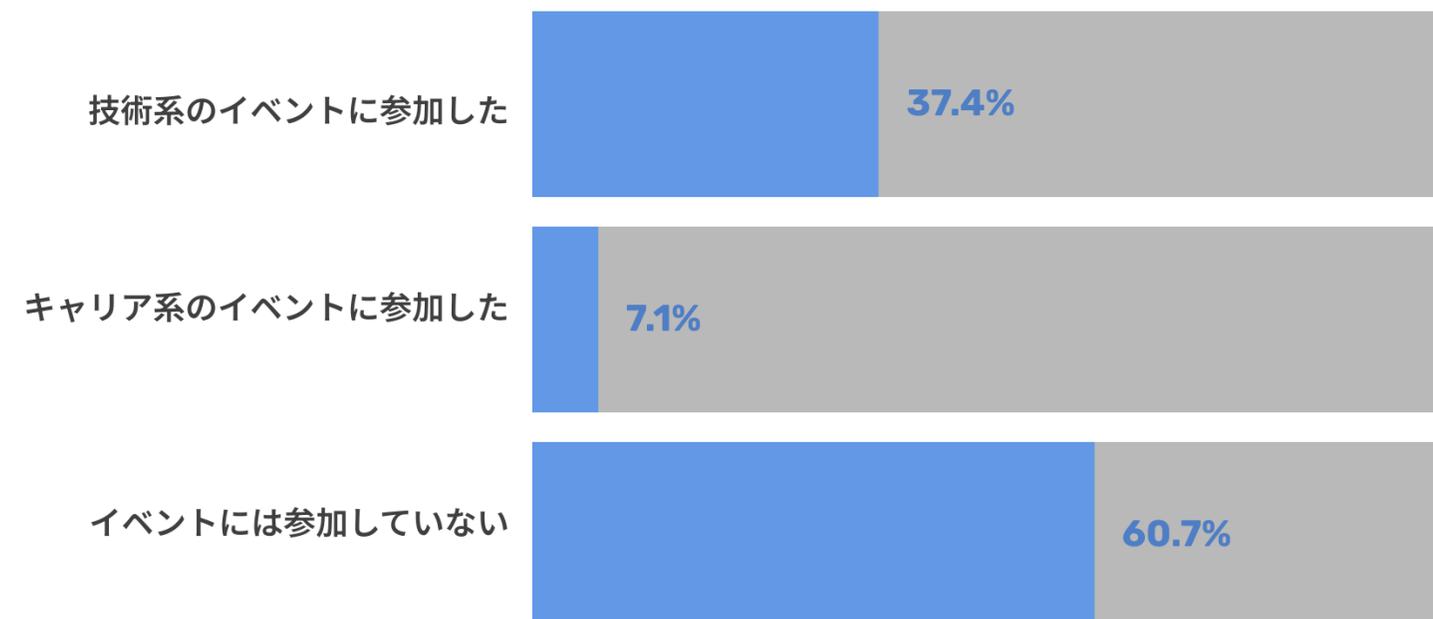
転職活動を行うとき、直近1年間で”オンライン”イベントに参加しましたか？ 当てはまるものを全て選択してください

※イベントとは、セミナーや勉強会など業務やキャリアに役立つためのものを指します。

オンライン



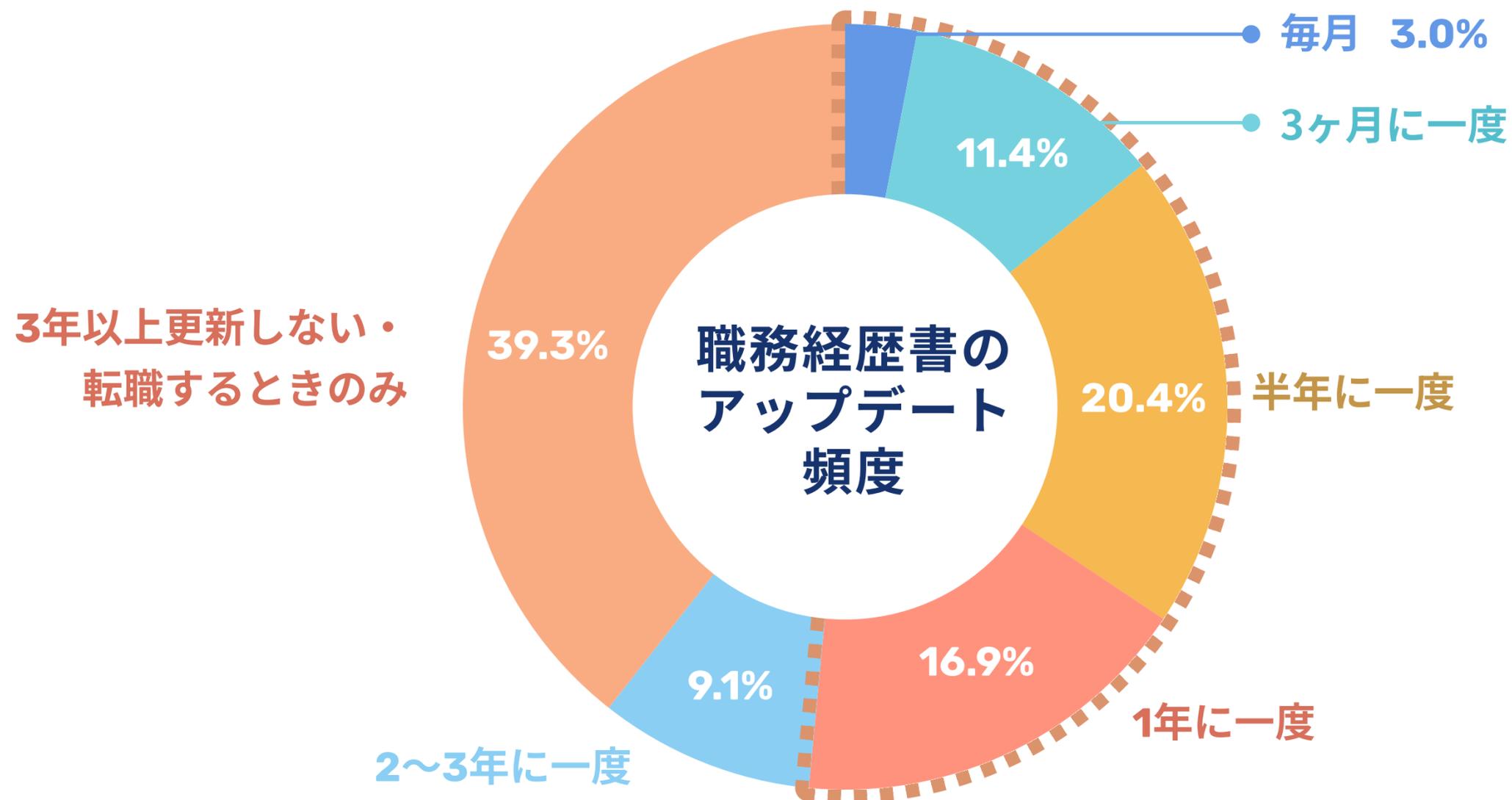
オフライン



職務経歴書を1年に1回以上アップデートしている割合は51.7%

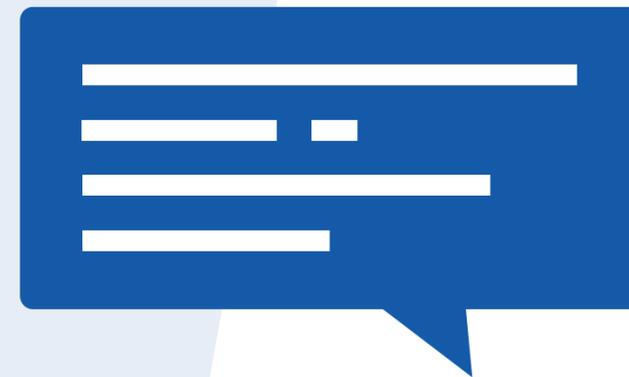
設問

職務経歴書のアップデートはどのくらいの頻度で行っていますか？ 一番近いものを1つ選んでください



おわりに

ユーザーサクセス面談のご案内



レポートの内容をさらに詳しく知りたい方は
ユーザーサクセス面談をご活用ください！

Findyではエンジニアの方との面談を行い、
キャリアの壁打ちや転職支援を行っています

レポートに関連する「転職事例」「企業採用ニーズ」の解説に加え、
ご経歴を踏まえた個別のアドバイスが可能です。

面談でお話しする内容の一例)

- ・ 言語ごとの将来性とその背景
- ・ 次に転職するならどの企業規模がいいか？

※転職意欲がないのに無理に転職を勧めることは一切致しません。

[ユーザーサクセス面談の詳細はこちら](https://findy-code.io/us-lp)

<https://findy-code.io/us-lp>





Findy

本レポートに関するご意見はこちら

レポートの感想や今後取り上げて欲しいテーマなど、
皆さまのご意見を募集しています。

<https://forms.gle/YBJBpvubxZm9qrNF6>